

歯科衛生学科 シラバスの変更一覧

学年	ページ	開講科目
1年	14～15	情報処理
1年	23	口腔生理学
1年	33～34	歯科衛生士概論
1年	37～38	保存修復学
1年	44～45	保健指導演習Ⅰ（臨床基礎）
1年	46～48	歯科診療補助法（基礎知識）
2年	65～66	地域保健
2年	76	小児歯科学
2年	80	歯科放射線学
2年	82	歯周病予防法（臨床基礎）
2年	85～86	保健指導演習Ⅱ（臨床応用）
2年	96～97	臨地実習指導（臨床応用）
3年	105	スポーツレクリエーション
3年	106	一般臨床医学
3年	110～111	歯周病予防法（臨床応用）
3年	112～114	保健指導演習Ⅲ（臨床総合）
3年	115	口腔リハビリテーション演習
3年	119～120	救急法・救急蘇生法
3年	125～126	臨地実習指導（臨床総合）
3年	127	歯科衛生研究法Ⅰ（臨床基礎）

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CO-0-HSC-01				
	●									
科目名	情報処理				単位 認定者	氏家 留美子		評価 の方法	試験（筆記）	50 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	1 年	開講時期	前期	単位数	1 単位		授業内課題	20 %
						授業時間数	30 時間		受講態度	30 %
					授業形態	演習	授業回数		15 回	
授業の概要	現代のコミュニケーションツールとして重要な位置を占めるパソコンを用いて、文書作成やデータ処理など情報伝達・発信方法の基礎を学ぶ。加えて、パソコンをコミュニケーションツール、ビジネスツールとして活用する能力を養う。また、パソコンを使う者のマナー、情報保護の意識等も学修する。									
到達目標	パソコンの基本操作を修得し、Word・Excel・PowerPointの効率的な使用能力を身につける。 さまざまなICTツールで情報を収集・整理・評価し、ICTを活用した情報分析ができるようになる。 ◆Word：書式設定や印刷設定を適切に使える。表・図形・写真を取り入れた表現力のある文書を作成できる。 ◆Excel：書式設定をして表を整えることができる。計算式や関数を使える。データにふさわしいグラフの種類を選び作成できる。 ◆PowerPoint：プレゼンテーションの目的や構成について理解し、視認性のあるスライド作成とスライドショー実施ができる。									
学修者への 期待等	基本から応用操作まで、学生が自身のスキルを見つめ直し成長することを期待する。 操作に不慣れな学生は、この機会に基礎を固めること。既にスキルを持つ学生もさらなる向上を目指してほしい。 操作がわからない部分は、演習中に質問して確実に理解を深めること。 教材データを保存するために、USBメモリを授業2回目以降で使用する。授業1回目の時にUSBメモリについては詳しく説明するので、2回目の授業までに各自準備すること。									
回	授業計画					準備学修			事前学修 時間 (分)	事後学修 時間 (分)
1	Word（実技）：ビジネス文書の基礎知識 （ビジネス文書の構成と作成方法）					事前学修：教科書10～17ページを読んでおく 事後学修：教科書95ページ（文書の基本形）を覚える			30	30
2	Word（実技）：Wordの基本操作（書式設定・印刷設定） 情報セキュリティ：脅威が与える影響とセキュリティ対策					事前学修：教科書27～31ページを読んでおく 事後学修：授業で指示するセキュリティ関連の問題を解く			30	30
3	Word（実技）：情報の整理（表を用いた文書作成）					事前学修：教科書39～45ページを読んでおく 事後学修：教科書46ページ(実習03)を操作する			30	30
4	Word（実技）：いろいろな書式設定の活用方法 （段落の網かけ・均等割り付け・ルビ・囲い文字・傍点・段組み・ヘッダーフッター）					事前学修：教科書50～57ページを読んでおく 事後学修：教科書59ページ(実習08)を操作する			30	30
5	Word（実技）：文書の表現力アップ （イラスト・写真・ワードアート・図形描画）					事前学修：教科書60～68ページを読んでおく 事後学修：授業で指示するWord課題を完成させる			30	60
6	Word（実技）：レポートなどの長文作成をサポートする操作 （見出しスタイルの利用・目次作成・検索・置換） 著作権の知識：著作権の概念・著作権侵害・引用のルール					事前学修：教科書6～7ページを読んでおく 事後学修：授業で指示する著作権関連の問題を解く			30	30
7	PowerPoint（実技）：プレゼンテーションの構成・箇条書きや表を用いた情報の整理・図形や画像の効果的な利用法・スライドショーの実施・印刷設定					事前学修：教科書194～222ページを読んでおく 事後学修：授業で指示するプレゼン課題のテーマを考え、構成を下書きする			30	30
8	PowerPoint（実技）：アニメーションの設定・図解表現の手法・生成AIを活用した情報収集と内容整理・指示するテーマで、伝わるプレゼンテーションの課題作成					事前学修：教科書233～237ページを読んでおく 事後学修：授業で指示するプレゼン課題を完成させる			30	90
9	Excel（実技）：Excelの基本操作 （四則演算・SUM、AVERAGE関数・書式設定・行列操作・表示形式・印刷設定）					事前学修：教科書96・110～123ページを読んでおく 事後学修：教科書108ページ(実習15)を操作する			30	30

回	授業計画	準備学修	事前学修 時間 (分)	事後学修 時間 (分)
10	Excel（実技）：数式を効率的かつ正確に作る （相対参照と絶対参照の使い分け）	事前学修：教科書139ページを読んでおく 事後学修：教科書140ページ（例題11）を操作する	30	30
11	Excel（実技）：数値を評価するための基本的関数 （MAX・MIN・COUNT・COUNTA）	事前学修：教科書141ページを読んでおく 事後学修：教科書153ページ（実習21）を操作する	30	30
12	Excel（実技）：データを視覚的に分析・評価（グラフ作成）	事前学修：教科書156～161ページを読んでおく 事後学修：教科書164・165ページ（実習24・25）を操作する	30	30
13	Excel（実技）：基準に基づくデータの整理や抽出 （データベースのしくみ・並べ替え・フィルター）	事前学修：教科書168～173ページを読んでおく 事後学修：教科書175ページ（実習29）を操作する	30	30
14	Excel（実技）：データを条件付きで処理・集計 （IF・COUNTIF・SUMIF関数など） 関数のまとめ①（データの評価・集計するための関数の活用）	事前学修：教科書143～145ページを読んでおく 事後学修：教科書144～145ページ（例題14）を操作する	30	30
15	Excel（実技）：特定の値を基に検索とデータ取得 （VLOOKUP関数など） 関数のまとめ②（データの整理・分析するための関数の活用）	事前学修：教科書146ページを読んでおく 事後学修：教科書146ページ（例題15）を操作する	30	30
アクティブ・ラーニング	☐ 該当なし ☒ 該当あり：キーワード（プレゼンテーション）			
教科書	『30時間アカデミック Office2021 Windows11対応』 杉本くみ子／大澤栄子 著 実教出版（ISBN：978-4-407-35943-5）			
参考文献	進行に応じてプリントを配布する。			
備考	A・Bクラス別で授業を実施します。 「試験」は、Word・Excel・PowerPointの使用方法に関する筆記試験を行う。 「課題」は、指示した作成ファイルをデータ形式で提出する。内容を確認し、以後の授業で講評する。 情報処理室で授業を実施する。パソコンの操作手順を示す際に講師の操作画面を各学生のパソコン画面へ映す授業支援システム(SkyClassesMng)を利用する。			

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-1-DHB-05				
	●									
科目名	口腔生理学				単位認定者	小山 重人		評価の方法	試験（筆記）	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	1 年	開講時期	後期	単位数	2 単位		授業内課題等	20 %
						授業時間数	30 時間		受講態度	10 %
				授業形態	講義	授業回数	15 回			
授業の概要	高齢者・要介護者が抱える諸問題の中でも咀嚼・嚥下・発声の障害は大きな問題となっている。歯・口腔とその周囲組織の機能は、正常な咀嚼・嚥下・発声に重要にかかわっている。本科目では、歯・口腔とその周囲組織の生理機能に関する基礎知識を修得する。									
到達目標	歯・口腔とその周囲組織の生理機能に関する基礎知識を修得する。									
学修者への期待等	全身の解剖・生理の基本的知識を踏まえた上で、授業に臨むことを期待する。また、教科書などによる予習・復習を行い、授業内容を十分に理解することを期待する。									
回	授業計画				準備学修				事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
1	歯・口腔、顔面の感覚				事前学修：教科書の該当ページを読んで予習する 事後学修：配布資料を用いて復習する				30	30
2	味覚と嗅覚 1 （味覚）				事前学修：教科書の該当ページを読んで予習する 事後学修：配布資料を用いて復習する				30	30
3	味覚と嗅覚 2 （嗅覚）				事前学修：教科書の該当ページを読んで予習する 事後学修：配布資料を用いて復習する				30	30
4	咬合と咀嚼・吸啜 1 （下顎位、下顎の運動）				事前学修：教科書の該当ページを読んで予習する 事後学修：配布資料を用いて復習する				30	30
5	咬合と咀嚼・吸啜 2 （顎反射、摂食行動）				事前学修：教科書の該当ページを読んで予習する 事後学修：配布資料を用いて復習する				30	30
6	咬合と咀嚼・吸啜 3 （咀嚼能力、口腔機能）				事前学修：教科書の該当ページを読んで予習する 事後学修：配布資料を用いて復習する				30	30
7	咬合と咀嚼・吸啜 4 （咀嚼能力、吸啜）				事前学修：教科書の該当ページを読んで予習する 事後学修：配布資料を用いて復習する				30	30
8	嚥下と嘔吐 1 （嚥下とは、咀嚼・嚥下時の筋の働きと食塊の動き）				事前学修：教科書の該当ページを読んで予習する 事後学修：配布資料を用いて復習する				30	30
9	嚥下と嘔吐 2 （嚥下の神経機構、嚥下の病態）				事前学修：教科書の該当ページを読んで予習する 事後学修：配布資料を用いて復習する				30	30
10	嚥下と嘔吐 3 （嚥下と検査）				事前学修：教科書の該当ページを読んで予習する 事後学修：配布資料を用いて復習する				30	30
11	嚥下と嘔吐 4 （嘔吐）				事前学修：教科書の該当ページを読んで予習する 事後学修：配布資料を用いて復習する				30	30
12	発声・発語 1 （発声機構の概要 声の生成、構音のメカニズム）				事前学修：教科書の該当ページを読んで予習する 事後学修：配布資料を用いて復習する				30	30
13	発声・発語 2 （歯・口腔の病態と構音）				事前学修：教科書の該当ページを読んで予習する 事後学修：配布資料を用いて復習する				30	30
14	唾液1 （唾液の分泌機構・性状・成分と機能）				事前学修：教科書の該当ページを読んで予習する 事後学修：配布資料を用いて復習する				30	30
15	唾液2 （唾液と疾患）				事前学修：教科書の該当ページを読んで予習する 事後学修：配布資料を用いて復習する				30	30
アクティブ・ラーニング	☑該当なし ☐該当あり：キーワード（ ）									
教科書	『歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学』一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社									
参考文献	なし									
備考	小テストを採点後、授業内で総括する。講義の進行具合によっては、シラバスの授業計画は前後する事もある。									

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)
歯科医師として咬合・咀嚼・嚥下などに問題がある様々な症例を経験してきた。その実務経験を活かし、口腔生理学に関して具体的な臨床に結び付けた授業を展開する。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-2-DHC-01				
	●			●						

科目名	歯科衛生士概論				単位認定者	大宮 由布子		評価の方法	試験 (筆記)	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	1 年	開講時期	前期	単位数	2 単位		受講態度	10 %
						授業時間数	30 時間		授業内課題	10 %
				授業形態	講義	授業回数	15 回			

授業の概要	歯科衛生士が保健・医療・福祉に関わることの意義を理解し、人々の健康を支援する専門職として倫理的な考え方と科学的な根拠をもって歯科衛生活動を展開するために必要な態度や知識、技術についての全体像を学ぶ。									
到達目標	①保健・医療・福祉に関わる意義を理解する。 ②歯科衛生士法に基づく業務内容を理解し、歯科衛生士に必要な知識、技術、態度を身につける。 ③医療従事者として倫理観に基づいた考えや態度を身につける。 ④専門職として生涯にわたり学修することの意義を理解する。									
学修者への期待等	歯科衛生士概論は、歯科衛生士になるための最初の一步となる科目です。この授業では、知識や技術だけでなく、歯科衛生士としての考え方や姿勢を学びます。これからの学校生活や、将来の臨床現場で活かすためにも一つひとつの授業を大切にしながら、歯科衛生士への道を歩んでいきましょう。									

回	授業計画・学修の主題	準備学修	事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員
1	歯科臨床概論（歯科医療とは）	事前学修：歯科診療における人－歯科診療従事者の種類と役割について調べてくること。 事後学修：授業記録をまとめること。	30	30	大宮 由布子
2	歯科疾患の概要／歯科診療の流れ	事前学修：前時の授業内容レジュメを復習し授業に臨むこと。 事後学修：授業記録をまとめること。	30	30	大宮 由布子
3	歯科衛生士 ～歯科衛生士の専門的役割とは～	事前学修：歯科衛生学概論 序章、1章を読み授業に臨むこと。 事後学修：授業記録をまとめること。	30	30	大宮 由布子
4	歯科衛生士の歴史と現況	事前学修：歯科衛生学概論 2章を読み授業に臨むこと。 事後学修：授業記録をまとめること。	30	30	大宮 由布子
5	歯科衛生と健康	事前学修：歯科衛生学概論 3章を読み授業に臨むこと。 事後学修：授業記録をまとめること。	30	30	大宮 由布子
6	歯科衛生士法と関係する法規	事前学修：歯科衛生学概論 4章を読み授業に臨むこと。 事後学修：授業記録をまとめること。	30	30	大宮 由布子
7	歯科衛生士と倫理 倫理と価値観 医の倫理と患者の権利	事前学修：歯科衛生学概論5章を読み授業に臨むこと。 事後学修：授業記録をまとめること。	30	30	大宮 由布子
8	各症例で学ぶバイオエシックスに関わる問題	事前学修：歯科医療倫理付章P52～72 歯科医療倫理を考えるうえで必要な行動／その他歯科医療従事者に必要とされることを読み授業に臨むこと。 事後学修：授業記録をまとめること。	30	30	大宮 由布子
9	歯科衛生士の倫理綱領 ～歯科衛生士の倫理綱領 条文の理解～	事前学修：前時の復習と歯科衛生学概論5章を読み授業に臨むこと。 事後学修：授業記録をまとめること。	30	30	大宮 由布子
10	歯科衛生士の倫理綱領 ～事例検討～	事前学修：前時の復習と事例で学ぶ歯科衛生士の倫理綱領に目を通しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめること。	30	30	大宮 由布子

回	授業計画・学修の主題	準備学修	事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員
11	歯科衛生実践のための理論的根拠	事前学修：歯科衛生学概論 6章を読み授業に臨んでください。 事後学修：授業記録をまとめること。	30	30	大宮 由布子
12	歯科衛生実践の展開 歯科衛生過程	事前学修：歯科衛生学概論 7章を読み授業に臨んでください。 事後学修：授業記録をまとめること。	30	30	大宮 由布子
13	歯科衛生士の組織活動と国際活動	事前学修：歯科衛生学概論11章12章を読み授業に臨むこと。 事後学修：授業記録をまとめること。	30	30	大宮 由布子
14	歯科衛生士のキャリア形成 歯科衛生士の活躍の場（1） ～歯科診療所に勤務する歯科衛生士～	事前学修：歯科衛生学概論13章を読み授業に臨むこと。 事後学修：授業記録をまとめること。	30	30	大宮 由布子 (岸田 妃菜)
15	歯科衛生士のキャリア形成 歯科衛生士の活躍の場（2） ～一般企業に勤務する歯科衛生士～	事前学修：歯科衛生学概論13章を読み授業に臨むこと。 事後学修：授業記録をまとめること。	30	30	大宮 由布子 (佐藤 結愛)
アクティブ・ラーニング	□該当なし ☑該当あり：キーワード（グループディスカッション）				
教科書	『歯科衛生学シリーズ 歯科衛生学概論』全国歯科衛生士教育協議会 監修、医歯薬出版株式会社 『事例で学ぶ 歯科衛生士の倫理綱領』日本歯科衛生教育学会編、医歯薬出版株式会社				
参考文献	授業内で適宜紹介する				
備考	シラバス9・10回目 グループワーク レポート、課題等は添削後、授業内で総括します。				

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

歯科診療所での勤務経験と歯科衛生士教育に携わってきた経験を活かし、歯科衛生士として倫理的考察および科学的根拠をもった活動を展開するために必要な態度や知識・技術の概要について授業を行います。

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング DH-2-DHC-03				
	●									
科目名	保存修復学				単位 認定者	原田 美太巴 西條 佳奈		評価の方法	筆記試験	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	1 年	開講時期	後期	単位数	1 単位		受講態度	20 %
						授業時間数	20 時間			
				授業形態	講義	授業回数	10 回			
授業の概要	う蝕などの硬組織疾患によって生じた欠損部の様々な修復法やその修復材料についての基礎知識を修得する。 さらに、保存修復における歯科診療補助の基礎知識を修得する。									
到達目標	①保存修復治療の目的および概要について説明できる。 ②う蝕治療における診査・診断から、直接法修復および間接法修復に至るまでの治療の流れと、 各段階で使用される器材について理解できる。 ③ベニア修復およびホワイトニングなど、その他の保存修復治療の概要について理解できる。 ④保存修復治療における歯科衛生士の役割を理解し、歯科診療補助業務を適切に実施できる。									
学修者への 期待等	・事前に各回の授業計画を確認し、教科書等を熟読し予習を行ってから授業に臨んでください。 ・9・10回目は演習となります。身だしなみを整えて授業に臨んでください。									
回	授業計画・学修の主題				準備学修		事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員	
1	保存修復学の意味と概要				事前学修：『保存修復学・歯内療法学』Ⅱ編1章①②③をよく読んで授業に臨むこと。 事後学修：教科書と配布資料で復習すること。		30	30	原田 美太巴	
2	診査診断と前準備				事前学修：『保存修復学・歯内療法学』Ⅰ編2章、Ⅱ編1章⑤をよく読んで授業に臨むこと。 事後学修：教科書と配布資料で復習すること。		30	30	原田 美太巴	
3	う蝕の病態と窩洞形成				事前学修：『保存修復学・歯内療法学』Ⅱ編1章①②⑥をよく読んで授業に臨むこと。 事後学修：教科書と配布資料で復習すること。		30	30	原田 美太巴	
4	直接法修復①（コンボジットレジン修復）				事前学修：『保存修復学・歯内療法学』Ⅱ編2章①②をよく読んで授業に臨むこと。 事後学修：教科書と配布資料で復習すること。		30	30	原田 美太巴	
5	直接法修復②（グラスアイオノマー修復）				事前学修：『保存修復学・歯内療法学』Ⅱ編2章③をよく読んで授業に臨むこと。 事後学修：授業終了後は、教科書と配布資料で復習すること。		30	30	原田 美太巴	
6	間接法修復①（メタルインレーおよびアンレー修復）				事前学修：『保存修復学・歯内療法学』Ⅱ編4章①②をよく読んで授業に臨むこと。 事後学修：教科書と配布資料で復習すること。		30	30	原田 美太巴	
7	間接法修復②（審美的間接修復）				事前学修：『保存修復学・歯内療法学』Ⅱ編4章②-3、4をよく読んで授業に臨むこと。 事後学修：教科書と配布資料で復習すること。		30	30	原田 美太巴	
8	ベニア修復とホワイトニング／合着材と接着材				事前学修：『保存修復学・歯内療法学』Ⅱ編3章、4章③④、をよく読んで授業に臨むこと。 事後学修：教科書と配布資料で復習すること。		30	30	原田 美太巴	
9	保存修復における歯科衛生士の役割 （直接法修復における歯科診療補助について ／コンボジットレジン修復マネキン演習①）				事前学修：シラバス3回目および4回目の内容について復習をして授業に臨むこと。 事後学修：配布した実習記録を用いて復習すること。		30	30	西條 佳奈	
10	保存修復における歯科衛生士の役割 （コンボジットレジン修復マネキン演習②／ 直接法修復における患者指導について）								西條 佳奈	
アクティブラーニング	☐ 該当なし ☒ 該当あり：キーワード（マネキン演習）									

教科書	『歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学』 全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社 『歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論第2版』 全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社 『歯科衛生学シリーズ 歯科材料』 全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社 『歯科衛生学シリーズ 歯科機器』 全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社
参考文献	
備考	1～8回目については、教室にて合同授業を実施する。9・10回目についてはクラス別での演習とし、8階演習室を使用して連続で授業を行う。また9・10回目の実習記録は、授業終了後に回収し、添削後返却する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)	
原田英太巴：東北大学病院歯内療法科に所属し、日本歯科保存学会認定医として勤務している経験から保存修復学分野の基礎知識を指導する。	

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-2-DHP-07					
		●	●								
科目名	保健指導演習Ⅰ（臨床基礎）				単位 認定者	伊藤 明日香 佐藤 陽子 大宮 由布子		評価 の方法	試験（筆記）	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	1年	開講時期	後期	単位数	1 単位		試験（実技）	10 %	
						授業時間数	30 時間		授業内課題	10 %	
					授業形態	演習	授業回数		15 回	受講態度	10 %
授業の概要	歯科保健指導において、対象者の健康を保持・増進するために必要なセルフケア用口腔清掃用具の種類と使用目的について学ぶ。プラークコントロールを中心とした各種ブラッシング方法を理解し、演習を通して基礎的な歯科保健指導技術の修得を目指す。										
到達目標	1. 自身及び相互演習を通して、口腔内の状態を客観的に把握できる。 2. 各種口腔清掃用具・歯磨剤の特徴を理解し、適切に使用・説明できる。 3. 歯科衛生ケアプロセスの概念を理解し、基礎的な歯科保健指導を実践・振り返ることができる。										
学修者への期待等	1. 身だしなみをきちんと整え、教科書等の忘れ物がないように授業に臨むこと。 2. 欠席・欠課をしないよう意欲的に授業に取り組むこと。										
回	授業計画・学修の主題			準備学修			事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員		
1	自分自身の口腔内観察・100%磨き			事前学修：『歯科予防処置論・歯科保健指導論』P252表Ⅲ-4-7を参照し、自分の口腔内の、口腔清掃困難および清掃不良につながる口腔環境を考察し、授業に臨むこと。（20分程度） 事後学修：授業記録をまとめて提出する。			30	30	伊藤 明日香 佐藤 陽子 大宮 由布子		
2	フロッシング演習			事前学修：『歯科予防処置論・歯科保健指導論』P251～デンタルフロスについて事前に読んで授業に臨むこと。（20分程度） 事後学修：授業記録をまとめて提出する。			30	30	伊藤 明日香 佐藤 陽子 大宮 由布子		
3	歯間ブラシ・タフトブラシ検討演習			事前学修：『歯科予防処置・歯科保健指導論』P253～の歯間ブラシ、タフトブラシについて事前に読んで授業に臨むこと。（20分程度） 事後学修：授業記録をまとめて提出する。			30	30	伊藤 明日香 佐藤 陽子 大宮 由布子		
4	歯磨剤検討演習			事前学修：『歯科予防処置・歯科保健指導論』P250表Ⅲ-4-6を参照し、自分の普段使用している歯磨剤の成分を調べ、授業に臨むこと。（20分程度） 事後学修：授業記録をまとめて提出する。			30	30	伊藤 明日香 佐藤 陽子 大宮 由布子		
5	PCR測定演習 相互演習(1)／患者1人目			事前学修：『歯科予防処置・歯科保健指導論』P126～⑧分析のためのデータについて事前に読んで授業に臨むこと。（20分程度） 事後学修：授業記録をまとめて提出する。			30	30	伊藤 明日香 佐藤 陽子 大宮 由布子 三浦 悦子		
6	PCR測定演習 相互演習(2)／患者2人目			事前学修：シラバス5回目の演習記録および授業資料を読んで授業に臨むこと。（20分程度） 事後学修：授業記録をまとめて提出する。			30	30	伊藤 明日香 佐藤 陽子 大宮 由布子 三浦 悦子		
7	PCR測定演習 相互演習(3)／患者3人目			事前学修：シラバス5回目の演習記録および授業資料を読んで授業に臨むこと。（20分程度） 事後学修：授業記録をまとめて提出する。			30	30	伊藤 明日香 佐藤 陽子 大宮 由布子 三浦 悦子		
8	各種口腔清掃用具による術者磨き 相互演習(1)／患者1人目			事前学修：シラバス1・2・3回目の演習記録および授業資料を読んで授業に臨むこと。（20分程度） 事後学修：授業記録をまとめて提出する。			30	30	伊藤 明日香 佐藤 陽子 大宮 由布子 三浦 悦子		
9	各種口腔清掃用具による術者磨き 相互演習(2)／患者2人目			事前学修：シラバス1・2・3回目の演習記録および授業資料を読んで授業に臨むこと。（20分程度） 事後学修：授業記録をまとめて提出する。			30	30	伊藤 明日香 佐藤 陽子 大宮 由布子 三浦 悦子		
10	各種口腔清掃用具による術者磨き 相互演習(3)／患者3人目			事前学修：シラバス1・2・3回目の演習記録および授業資料を読んで授業に臨むこと。（20分程度） 事後学修：授業記録をまとめて提出する。			30	30	伊藤 明日香 佐藤 陽子 大宮 由布子 三浦 悦子		

回	授業計画・学修の主題	準備学修	事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員
11	客観的臨床能力判断(実技試験)概要説明	事前学修：1年次に学習した内容を復習し臨むこと。 事後学修：授業記録をまとめて提出する。	30	30	佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香
12	客観的臨床能力判断(実技試験)①	事前学修：1年次に学習した内容を復習し臨むこと。 事後学修：授業記録をまとめて提出する。	30	30	佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香 三浦 悦子
13	客観的臨床能力判断(実技試験)②	事前学修：1年次に学習した内容を復習し臨むこと。 事後学修：授業記録をまとめて提出する。	30	30	佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香 三浦 悦子
14	歯科衛生ケアプロセスの概念・概要①	事前学修：歯科衛生ケアプロセス実践ガイド PrologueおよびⅠ編歯科衛生ケアプロセスの概要P6～P17を読んで授業に臨むこと。 (概ね20分程度) 事後学修：授業記録をまとめて提出すること。	30	30	佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香
15	歯科衛生ケアプロセスの概念・概要②	事前学修：歯科衛生ケアプロセス実践ガイド PrologueおよびⅠ編歯科衛生ケアプロセスの概要P6～P17を読んで授業に臨むこと。 (概ね20分程度) 事後学修：授業記録をまとめて提出すること。	30	30	佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香
アクティブ・ラーニング	☐ 該当なし ☒ 該当あり：キーワード（基礎演習、検討演習、相互演習）				
教科書	『歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論第2版』全国士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社 『歯科衛生ケアプロセス実践ガイド』佐藤 陽子 齋藤淳編著 医歯薬出版株式会社				
参考文献	授業内で適宜紹介する。				
備考	シラバス1～10・12・13回目は、 クラス別 に8階歯科実習室(シラバス12・13回目は2コマ続き)。シラバス11・14・15回目は、合同講義（教室）				

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

担当教員は歯科医院で5年以上の実務経験と歯科衛生士資格を有しており、その経験を活かした授業を展開します。また、学生が歯科保健指導業務について理解を深め、臨床現場に繋げることができるような実践的な授業を行います。

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング DH-2-DHP-12				
	●									
科目名	歯科診療補助法（基礎知識）				単位 認定者	花渕 静 西條 佳奈		評価の 方法	筆記試験	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	1 年	開講時期	前期 <th>単位数</th> <td>2 単位</td> <th>受講態度</th> <td>20 %</td>	単位数	2 単位		受講態度	20 %
						授業時間数	40 時間			
					授業形態	講義 <th>授業回数</th> <td>20 回</td> <td></td> <td></td>	授業回数		20 回	
授業の概要	歯科衛生士が行う歯科診療補助業務の法的な変化および業務の専門性について理解する。 また、歯科診療補助のみならず歯科衛生士の活動に関わる医療安全と感染予防の基礎知識を学び実践できる能力を身につける。さらに、歯科衛生士が取り扱う歯科材料、歯科機器の種類、目的、用途ならびに歯科理工学的特性について理解する。									
到達目標	① 歯科診療補助の目的および歯科衛生士の業務範囲について説明できる。 ② 歯科診療室の環境・設備（診療台周辺、器材配置、清潔・不潔区域）について説明できる。 ③ バキュームおよびスリーウェイシリンジを用いた基本的操作を適切に行うことができる。 ④ 歯科診療補助における基本的な共同動作を実施できる。 ⑤ 各種歯科材料を特性に配慮しながら適切に取り扱うことができる。 ⑥ 患者の立場に配慮した言葉遣い・態度で基本的な患者対応を行うことができる。 ⑦ 感染防止に留意し、安全な歯科診療補助を行おうとする姿勢を示すことができる。									
学修者への 期待等	・欠席・欠課をしないよう意欲を持って授業に臨んで欲しい。 ・各授業の前には授業計画を確認し、教科書などに目を通してから授業に臨んで欲しい。 ・演習を行う際には身だしなみをきちんと整え、教科書等忘れ物をしないようにして欲しい。									
回	授業計画・学修の主題				準備学修			事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員
1	歯科診療補助の概念／歯科診療室の基礎知識				事前学修：『歯科診療補助論 第2版』 Ⅰ編第1章歯科診療補助の概念および 第3章①歯科診療室の基礎知識を読み 授業に臨むこと。 事後学修：授業内で配布した実習記録 を用いて復習を行うこと。			30	30	西條 佳奈
2	歯科材料・歯科機器の種類と特性				事前学修：『歯科材料』Ⅶ執筆の序、 Ⅰ編第1章歯科材料と歯科衛生士およ び2章歯科材料の基礎知識『歯科機 器』Ⅶ執筆の序、第1章および第2章① 歯科用ユニット、④滅菌・消毒用機 器、第4章④歯および口腔検査用機器 を読み授業に臨むこと。 事後学修：授業内で配布した実習記録 を用いて復習を行うこと。			30	30	西條 佳奈
3	医療従事者としての身だしなみについて（グル ープワーク）／清潔・不潔の概念について				事前学修：医療従事者としての身だし なみが重要視される理由は何かを考 察してくること。清潔・不潔の概念につ いて調べてくること。 事後学修：授業内で配布した実習記録 を用いて復習を行うこと。			30	30	西條 佳奈
4	歯科診療所における患者対応の基本 ／共同動作 基礎演習				事前学修：『歯科診療補助論 第2版』 Ⅰ編第4章①共同動作を読み授業に臨 むこと。 事後学修：授業内で配布した実習記録 を用いて復習を行うこと。			30	30	花渕 静 西條 佳奈 三浦 悦子 穴戸 敦子
5	バキューム・スリーウェイシリンジテクニッ ク マネキン演習				事前学修：『歯科診療補助論 第2版』 Ⅰ編第4章①-6. バキュームテクニッ ク、7. スリーウェイシリンジテクニッ クを読み授業に臨むこと。また、シラ バス第4回の授業資料および実習記録 を確認しておくこと。 事後学修：授業内で配布した実習記録 を用いて復習を行うこと。			30	30	花渕 静 西條 佳奈 三浦 悦子 穴戸 敦子

回	授業計画・学修の主題	準備学修	事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員
6	共同動作（患者誘導～口腔内洗浄） 相互演習（1） （演習手順説明／術者1人目）	事前学修：『歯科診療補助論 第2版』 Ⅰ編第3章②-歯科診療所における受診 の流れ、第4章③-6. パキュームテク ニック、7. スリーウェイシリンジテク ニックを読み授業に臨むこと。また、 シラバス第4・5回の授業資料および実 習記録を確認しておくこと。 事後学修：授業内で配布した実習記録 を用いて復習を行うこと。	30	30	花渕 静 西條 佳奈 三浦 悦子 宍戸 敦子
7	共同動作（患者誘導～口腔内洗浄） 相互演習（2） （術者2人目、3人目／演習まとめ）				
8	合着材の基礎知識／基礎演習	事前学修：『歯科材料』Ⅱ編第4章① はじめに、②合着材の種類と用途、 『歯科診療補助論 第2版』Ⅰ編7章③ 合着・接着の補助を読み授業に臨むこ と。 事後学修：授業内で配布した実習記録 を用いて復習を行うこと。	30	30	西條 佳奈 三浦 悦子 宍戸 敦子
9	合着・接着の補助（各種合着材練和演習）	事前学修：『歯科診療補助論 第2版』 Ⅰ編第7章③合着・接着の補助を読み 授業に臨むこと。また、シラバス第8 回の授業資料および実習記録を確認し ておくこと。 事後学修：授業内で配布した実習記録 を用いて復習を行うこと。	30	30	西條 佳奈 三浦 悦子 宍戸 敦子
10	各種印象材の基礎知識	事前学修：『歯科材料』Ⅱ編第2章印 象材を読み授業に臨むこと。 事後学修：授業内で配布した実習記録 を用いて復習を行うこと。	30	30	花渕 静
11	アルジネート印象材の基礎知識／練和演習	事前学修：『歯科材料』Ⅱ編第2章③- 1. アルジネート印象材、『歯科診療 補助論 第2版』Ⅰ編第7章①-2. アル ジネート印象材による概形印象採得を 読み授業に臨むこと。また、シラバス 第10回の授業資料および実習記録を 確認しておくこと。 事後学修：授業内で配布した実習記録 を用いて復習を行うこと。	30	30	花渕 静 三浦 悦子 宍戸 敦子
12	アルジネート印象材による概形印象採得 マネキン演習	事前学修：『歯科診療補助論 第2版』 Ⅰ編第7章①-2. アルジネート印象材 による概形印象採得を読み授業に臨む こと。また、シラバス第11回の授業 資料および実習記録を確認しておくこ と。 事後学修：授業内で配布した実習記録 を用いて復習を行うこと。	30	30	花渕 静 三浦 悦子 宍戸 敦子
13	アルジネート印象材による概形印象採得 相互演習（1） （演習手順説明／術者1人目）	事前学修：『歯科診療補助論 第2版』 Ⅰ編第7章①-2. アルジネート印象材 の概形印象採得を読み授業に臨むこ と。また、シラバス第11・12回の 授業資料および実習記録を確認するこ と。 事後学修：授業内で配布した実習記録 を用いて復習を行うこと。	30	30	花渕 静 三浦 悦子 宍戸 敦子
14	アルジネート印象材による概形印象採得 相互演習（2） （術者2人目、術者3人目／演習まとめ）				
15	暫間修復材の基礎知識／基礎演習	事前学修：『歯科材料』Ⅱ編第7章暫 間修復材と仮着用セメントを読み授業 に臨むこと。 事後学修：授業内で配布した実習記録 を用いて復習を行うこと。	30	30	花渕 静
16	口腔内写真撮影の基礎知識／基礎演習	事前学修：『歯科診療補助論 第2 版』Ⅰ編第3章⑤-2. 口腔内写真撮影、 『歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版』Ⅲ編第2章⑧-2. 写真・画像 を読み授業に臨むこと。 事後学修：授業内で配布した実習記録 を用いて復習を行うこと。	30	30	西條 佳奈 三浦 悦子 宍戸 敦子

回	授業計画・学修の主題	準備学修	事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員
17	暫間修復物（既製冠/印象法）作製演習 ／口腔内写真撮影（5枚法）相互演習（1） （演習手順説明／術者1人目）	事前学修：『歯科材料』Ⅱ編第7章暫 間修復材と仮着用セメント、『歯科診 療補助論 第2版』Ⅰ編第3章⑤-2.口 腔内写真撮影、『歯科予防処置論・歯 科保健指導論 第2版』Ⅲ編第2章⑧- 2.写真・画像を読み授業に臨むこと。 また、シラバス15・16回の授業資料お よび実習記録を確認しておくこと。 事後学修：授業内で配布した実習記録 を用いて復習を行うこと。	30	30	花 渕 静 西 條 佳奈 三 浦 悦子 宍 戸 敦子
18	暫間修復物（既製冠／印象法）作製演習 ／口腔内写真撮影（5枚法）相互演習（2） （術者2人目）				
19	暫間修復物（既製冠／印象法）作製演習 ／口腔内写真撮影（5枚法）相互演習（3） （術者3人目）	事前学修：『歯科材料』Ⅱ編第7章暫 間修復材と仮着用セメント、『歯科診 療補助論 第2版』Ⅰ編第3章⑤-2.口 腔内写真撮影、『歯科予防処置論・歯 科保健指導論 第2版』Ⅲ編第2章⑧- 2.写真・画像を読み授業に臨むこと。 また、シラバス第15～18回の授業資料 および実習記録を確認しておくこと。 事後学修：授業内で配布した実習記録 を用いて復習を行うこと。	30	30	花 渕 静 西 條 佳奈 三 浦 悦子 宍 戸 敦子
20	暫間修復物（既製冠／印象法）作製演習 ／口腔内写真撮影（5枚法）相互演習（4） （演習まとめ）				
アクティブ・ ラーニング	□該当なし ☑該当あり：キーワード（グループワーク、基礎演習、練和演習、作製演習、マネキン演習、相互演習）				
教科書	『歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論第2版』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社 『歯科衛生学シリーズ 歯科材料』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社 『歯科衛生学シリーズ 歯科機器』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社 『歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論第2版』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社				
参考文献	授業の中で適宜紹介する。				
備考	1・2・10回目は教室で合同授業を行う。3～7回、11～20回目は8階実習室、8・9回目は新演習室にてクラス別に講義・演習を行う。6・7回、13・14回、17・18回、19・20回目は連続で演習を行う。なお、授業の進捗状況により授業計画の順番が前後することがある。 授業内で配布する実習記録については、授業終了後回収し添削後返却する。				

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

担当教員は歯科医院で5年以上の実務経験と、歯科衛生士資格を有しており、その経験を活かして学生が歯科診療業務について理解を深め、臨床現場に繋げることができるような実践的な授業を行います。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-1-DHB-15				
	●									
科目名	地域保健				単位認定者	大森俊也 石河理紗		評価の方法	試験 (筆記)	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	2年	開講時期	通年	単位数	2 単位		受講態度	10 %
						授業時間数	30 時間		授業内課題 (小テスト等)	10 %
				授業形態	講義	授業回数	15 回			
授業の概要	人々の健康に関わる地域の役割を学び、地域保健を担う組織の仕組みと特徴を理解する。また、集団を対象とした疾病予防と健康増進に関わる地域保健活動において歯科衛生士の役割を理解する。保健統計では、歯科臨床や保健情報のデータから、統計学的な解析を行う方法を身につける。									
到達目標	・地域の人々の歯と口腔の健康づくりを支援するための基礎と方策について理解する。 ・一人ひとりの生活行動が身近な地域福祉活動に結びつくものであること、また、一人ひとりが社会資源として地域福祉のネットワークに参画する必要性について理解する。 ・保健統計とは、健康増進、疾病予防、医療等人の健康に関する統計のことを指す。本科目では、保健統計の種類と意義を学修し、わが国の保健統計の変遷及び現状等について理解を深める。さらに医療の現場で得られる様々なデータは、そのままでは理解することが難しい場合も多い。そうしたデータを視覚的、数量的にまとめ、有用な情報を抽出するための方法を理解する。									
学修者への期待等	地域福祉について、口腔の健康に及ぼす要因も含めて理解する。基本的な統計学的手法について理解する。授業終了後に重要項目をまとめた小テストを実施するので、その内容については次回までに復習することが望ましい。									
回	授業計画・学修の主題					準備学修		事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)	担当教員
1	遠隔【オンデマンド】 地域保健・公衆衛生① 生活と健康、地域社会と保健対策の基本的な考え方を学び、時代の変化に伴う地域保健活動の変化から、今日の現状を概説する。					事前学修：教科書のⅢ編1章 ①～④を読む		15	0	石河 理紗
2	遠隔【オンデマンド】 地域保健・公衆衛生② 健康づくり対策と地域歯科保健について説明する。					事前学修：教科書のⅢ編1章 ⑤～を読む		15	0	石河 理紗
3	遠隔【オンデマンド】 母子保健 母子健康手帳に記載された口腔関連質問項目や妊産婦への歯科保健指導の要点について学ぶ。また1歳6カ月児、3歳児健康診断の目的、う蝕罹患型の分類、歯科保健指導の要点等を学習する。					事前学修：教科書のⅢ編2章 を読む		15	0	石河 理紗
4	遠隔【オンデマンド】 学校保健 学校保健の対象者とその意義、関係職員について学ぶ。また保健教育と保健管理の概要を理解する。学校歯科健康診断について診査の項目や記載事項、事後措置を学ぶ。					事前学修：教科書のⅢ編3章 を読む		15	0	石河 理紗
5	遠隔【オンデマンド】 成人保健・高齢者保健 成人保健として生活習慣病のリスクファクターと成人期の口腔保健管理について学ぶ。また、高齢者保健として高齢者の保健対策や介護保険、地域支援事業について理解する。					事前学修：教科書のⅢ編4章、6章を読む		15	0	石河 理紗
6	遠隔【オンデマンド】 産業保健 産業保健の目的、関連法規について学び、職業性疾病の要因と歯科を含む特殊健康診断について理解する。また安全衛生管理について学習する。					事前学修：教科書のⅢ編5章 を読む		15	0	石河 理紗
7	遠隔【オンデマンド】 精神保健 精神保健の定義、意義を学び、精神保健福祉行政や精神医療の現状と課題について理解する。また精神障害者の社会復帰と歯科保健の問題を考える。					事前学修：教科書のⅢ編7章 を読む		15	0	石河 理紗

回	授業計画・学修の主題	準備学修	事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)	担当教員
8	遠隔【オンデマンド】 災害時歯科保健、国際保健 日常的災害対策や災害時の保健医療について学び、災害時の歯科保健、歯科の役割について理解する。また世界的な健康水準や保健医療水準、国際協力に関わる機関やその活動について学ぶ。	事前学修：教科書のⅢ編8～9章を読む	15	0	石河 理紗
9	遠隔【オンデマンド】 まとめ これまでの授業内容について総括する	事前学修：これまでの講義資料を読む	30	0	石河 理紗
10	「地域福祉」の理解 ① ・少子化、超高齢化、多死という人口減少社会の問題と経済の縮小による財政逼迫の社会の到来は、他人ごとではなく、「自分ごと」として受け留めていかなければならない背景について学ぶ。 ・地域コミュニティの問題、課題への気づきと理解を深める。	事前学修：テキスト精読 事後学修：解説資料再読	30	30	大森 俊也
11	「地域福祉」の理解 ② ・社会福祉法から社会福祉と地域福祉の推進について解説する。 ・ノーマライゼーション、ソーシャルインクルージョン、アドボカシー、ボランティア、協働・パートナーシップ、エンパワメント等地域福祉の理念について理解を深める。	事前学修：テキスト精読 事後学修：解説資料再読	30	30	大森 俊也
12	「地域福祉」の理解 ③ ②に引き続き、ノーマライゼーション、ソーシャルインクルージョン、アドボカシー、ボランティア、協働・パートナーシップ、エンパワメント等地域福祉の理念について理解を深める。	事前学修：資料精読 事後学修：解説資料再読	30	30	大森 俊也
13	「地域福祉」の理解 ④ 地域に起こる様々な問題の中から認知症高齢種や災害時弱者等の保護、児童虐待の通告、児童相談所の役割を理解する。	事前学修：テキスト精読 事後学修：解説資料再読	30	30	大森 俊也
14	「地域福祉」の理解 ⑤ 地域福祉の推進における民生・児童委員の役割を理解する。子供の貧困とヤングケアラー、子育て支援について学ぶ。	事前学修：テキスト精読 事後学修：解説資料再読	30	30	大森 俊也
15	「地域福祉」の理解 ⑥ ・現状の地域福祉計画、地域支援計画及び「2040年問題」について解説する。 ・サービス通減の「国民的合意形成」について理解を深め、地域福祉活動参加への醸成を図る。	事前学修：前回資料精読 事後学修：全回を振り返る	30	30	大森 俊也
アクティブ・ラーニング	☒ 該当なし ☐ 該当あり：キーワード（ ）				
教科書	『最新歯科衛生士教本 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社				
参考文献	なし				
備考	対面またはオンデマンド授業で実施する。小テスト課題は回収後、採点し、次回総括する。				

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)
当教員は、在宅福祉に20年の相談実務経験があり、家族の会や行政と協働して認知症デイケアを開設。家族の介護負担軽減を図るとともに、本人擁護のための認知症徘徊搜索システムを協働開発しました。2000年新設の老健施設に歯科衛生士を採用し口腔ケア体制(診療ユニット室)創設し、退所後の在宅でも老健機能を楽しむ訪問介護・看護事業を展開するなど25年の経営実務経験があります。地域の課題や問題から地域福祉を構成する理論や理念等を容易に説明します。

学修成果		1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
		基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-2-DHC-08				
		●									
科目名		小児歯科学				単位 認定者	丸谷 由里子		評価の方法	試験（筆記）	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	2 年	開講時期	前期	単位数	1 単位	受講態度		20 %	
					授業形態	講義	授業時間数	30 時間			
								授業回数		15 回	
授業の概要		口腔疾患の発病、進行時期として重要な小児期における歯科衛生士の役割を理解するとともに、臨床の場で対応できるような能力の基礎を総合的に学ぶ。小児の心身の発達に伴う基本的知識や、小児の歯科疾患、予防法、診療補助等についての知識を習得する。									
到達目標		口腔疾患の発病、進行時期として重要な小児期における歯科衛生士としての役割を理解する。小児期の歯科医療について総合的に学ぶ。									
学修者への期待等		講義前後、該当箇所について教科書による予習復習を行うこと。									
回	授業計画					準備学修			事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)	
1	遠隔【オンデマンド】 小児歯科概論 小児歯科診療と歯科衛生士の役割について 教科書Ⅰ編1章小児歯科学概論、Ⅱ編3章小児歯科における診療体系①②					事前学修：教科書の指定範囲を読み、基礎的内容を整理したうえで授業に臨むこと 事後学修：教科書および配付資料を用いて復習すること			30	30	
2	心身の発育Ⅰ 発達の概念と分類、発育の評価、生理的年齢、器官の発育、精神的発達 教科書Ⅰ編2章心身の発育					事前学修：教科書の指定範囲を読み、基礎的内容を整理したうえで授業に臨むこと 事後学修：教科書および配付資料を用いて復習すること			30	30	
3	心身の発育Ⅱ 小児の生理的特徴 顔面頭蓋の発育 顔面頭蓋の発育、顎の発育とその評価 教科書Ⅰ編3章小児の生理的特徴、4章顔面頭蓋の発育					事前学修：教科書の指定範囲を読み、基礎的内容を整理したうえで授業に臨むこと 事後学修：教科書および配付資料を用いて復習すること			30	30	
4	遠隔【オンデマンド】 歯の発育とその異常 教科書Ⅰ編5章歯の発育とその異常					事前学修：教科書の指定範囲を読み、基礎的内容を整理したうえで授業に臨むこと 事後学修：教科書および配付資料を用いて復習すること			30	30	
5	遠隔【オンデマンド】 歯列・咬合の発育と異常 教科書Ⅰ編6章歯列・咬合の発育と異常					事前学修：教科書の指定範囲を読み、基礎的内容を整理したうえで授業に臨むこと 事後学修：教科書および配付資料を用いて復習すること			30	30	
6	小児の歯科疾患 う蝕 Ⅰ編7章①小児にみられるう蝕					事前学修：教科書の指定範囲を読み、基礎的内容を整理したうえで授業に臨むこと 事後学修：教科書および配付資料を用いて復習すること			30	30	
7	小児の歯科疾患 歯周疾患、口腔軟組織の異常 編7章②小児にみられる歯周疾患、③小児にみられる口腔軟組織の異常と疾患					事前学修：教科書の指定範囲を読み、基礎的内容を整理したうえで授業に臨むこと 事後学修：教科書および配付資料を用いて復習すること			30	30	
8	小児期の特徴と歯科的問題点 教科書Ⅰ編8章小児虐待、Ⅱ編1章小児期の特徴と歯科的問題点					事前学修：教科書の指定範囲を読み、基礎的内容を整理したうえで授業に臨むこと 事後学修：教科書および配付資料を用いて復習すること			30	30	
9	小児歯科診療体系 教科書Ⅱ編3章小児歯科における診療体系③④、7章歯科診療室と器材の管理					事前学修：教科書の指定範囲を読み、基礎的内容を整理したうえで授業に臨むこと 事後学修：教科書および配付資料を用いて復習すること			30	30	
10	患児の対応法Ⅰ 年齢別の小児の行動とその対応、不協力的小児の対応法 教科書Ⅱ編2章小児歯科における患者との対応法					事前学修：教科書の指定範囲を読み、基礎的内容を整理したうえで授業に臨むこと 事後学修：教科書および配付資料を用いて復習すること			30	30	
11	遠隔【オンデマンド】 患児の対応法Ⅱ 障害児の歯科治療 教科書Ⅱ編4章障害児の歯科治療					事前学修：教科書の指定範囲を読み、基礎的内容を整理したうえで授業に臨むこと 事後学修：教科書および配付資料を用いて復習すること			30	30	
12	遠隔【オンデマンド】 う蝕予防 教科書Ⅱ編5章う蝕予防、6章小児の口腔健康管理					事前学修：教科書の指定範囲を読み、基礎的内容を整理したうえで授業に臨むこと 事後学修：教科書および配付資料を用いて復習すること			30	30	
13	小児の歯冠修復 教科書Ⅱ編3章⑤⑥小児の麻酔、歯冠修復					事前学修：教科書の指定範囲を読み、基礎的内容を整理したうえで授業に臨むこと 事後学修：教科書および配付資料を用いて復習すること			30	30	
14	小児の歯内療法 教科書Ⅱ編3章⑦小児の歯内療法					事前学修：教科書の指定範囲を読み、基礎的内容を整理したうえで授業に臨むこと 事後学修：教科書および配付資料を用いて復習すること			30	30	
15	小児の外科処置、外相、咬合誘導 教科書Ⅱ編3章⑧小児の外科的処置 ⑨外傷 ⑩咬合誘導					事前学修：教科書の指定範囲を読み、基礎的内容を整理したうえで授業に臨むこと 事後学修：教科書および配付資料を用いて復習すること			30	30	
アクティブ・ラーニング	☑該当なし ☐該当あり：キーワード（ ）										
教科書	『歯科衛生学シリーズ 小児歯科学』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社										
参考文献	なし										
備考											

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-2-DHC-11				
	●									
科目名	歯科放射線学				単位 認定者	飯久保 正弘 西條 佳奈		評価の方法	試験 (筆記)	90 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	2年	開講時期	前期	単位数	1 単位		受講態度	10 %
						授業時間数	20 時間			
					授業形態	講義	授業回数		10 回	
授業の概要	エックス線の性質を理解し、歯科医療における正しいエックス線の利用法と歯科衛生士が果たす役割を認識する。エックス線診断の基本を学び、基本的な病態診断の技術を習得するとともに、放射線の生理学的影響やエックス線の性質、撮影法について、理解を深める。									
到達目標	エックス線の性質を理解し、歯科医療における正しいエックス線の利用法と歯科衛生士が果たすべき役割を認識する。エックス線診断の基本を理解し、基本的な病態診断の技術を修得する。									
学修者への期待等	欠席せずに意欲を持って臨み、予習・復習をしっかりと行ってほしい。									
回	授業計画・学修の主題					準備学修		事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員
1	遠隔【オンデマンド】 エックス線の基礎知識（講義）、エックス線写真の成立、写真処理					事前学修：予習として「放射線」という言葉の意味を調べておく。		30	0	飯久保 正弘
2	遠隔【オンデマンド】 歯科用エックス線撮影法(1)口内法					事前学修：前回の内容を復習して授業に臨むこと。		30	0	飯久保 正弘
3	歯科用エックス線撮影法(2)口外法とX線写真の読み方					事前学修：予習として放射線が人体に与える影響を調べておく。		30	0	飯久保 正弘
4	歯放射線防護（講義） 放射線被曝、放射線の生体に対する作用、組織の放射線感受性、放射線障害					事前学修：前回の内容を復習して授業に臨むこと。		30	0	飯久保 正弘
5	歯科用エックス線撮影法(3)パノラマ撮影法					事前学修：前回の内容を復習して授業に臨むこと。		30	0	飯久保 正弘
6	その他の画像診断（CT、MRI、超音波）と放射線治療					事前学修：前回の内容を復習して授業に臨むこと。		30	0	飯久保 正弘
7	歯科用エックス線写真撮影における歯科衛生士の役割／ 歯科用エックス線写真撮影における 歯科診療補助（平行法・二等分法）相互演習					事前学修：2回目の授業内容について復習をして授業に臨むこと。 事後学修：授業内で配布した実習記録を用いて復習すること。		30	30	西條 佳奈
8	歯科用エックス線写真撮影における 歯科診療補助（パノラマエックス線写真）相互演習／歯科用エックス線写真の読影（う蝕）グループワーク					事前学修：5回目の授業内容について復習をして授業に臨むこと。 事後学修：授業内で配布した実習記録を用いて復習すること。		30	30	山口 恵 西條 佳奈
9	歯科用エックス線写真撮影における 歯科診療補助（咬翼法・咬合法）相互演習／歯科用エックス線写真の読影（歯周病）グループワーク					事前学修：2回目の授業内容について復習をして授業に臨むこと。 事後学修：授業内で配布した実習記録を用いて復習すること。		30	30	西條 佳奈
10	歯科用エックス線写真撮影における 歯科診療補助（インジケーターを使用した二等分法）相互演習／ 歯科用エックス線写真の読影（その他の歯科疾患）グループワーク					事前学修：7回目の授業内容について復習をして授業に臨むこと。 事後学修：授業内で配布した実習記録を用いて復習すること。		30	30	山口 恵 西條 佳奈
アクティブ・ラーニング	□該当なし ☑該当あり：キーワード（相互演習・グループワーク）									
教科書	『歯科衛生士テキスト わかりやすい歯科放射線学 第3版』飯久保正弘ほか著、株式会社学建書院									
参考文献	なし									
備考	1～6回目については、教室にて合同授業を実施する。7～10回目についてはクラス別での演習とし、実施する教室は授業前に周知を行う。また7～10回の実習記録は、授業終了後に回収し、添削後返却する。									

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)
飯久保：28年前より教職に従事し、日本歯科放射線学会の指導医、専門医を有している。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-2-DHP-03				
	●	●								
科目名	歯周病予防法（臨床基礎）				単位認定者	伊藤 恵美		評価の方法	試験（筆記）	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	2年	開講時期	通年	単位数	2 単位		受講態度	20 %
						授業時間数	60 時間			
					授業形態	演習	授業回数		30 回	
授業の概要	「歯科予防処置法」で修得した知識と技術をもとに、歯周組織の健康像と病的変化を把握し、歯周病予防法の専門的な知識と技術および態度を修得する。その手技として各検査法、予防的歯石除去法、歯面研磨・歯面清掃の技術について、安全で適切な操作技術を模型上および相互実習で修得する。									
到達目標	1. 口腔内の状態を観察し、必要な歯周病予防技術を選択できる 2. 歯周病予防を目的とした基本的器具操作を安全に行うことができる。 3. 安全・感染予防を意識して施術をすることができる。									
学修者への期待等	1. 身だしなみをきちんと整え、教科書等の忘れ物がないように授業に臨むこと。 2. 欠席・欠課をしないよう意欲的に臨んでほしい。									
回	授業計画・学修の主題				準備学修		事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員	
1	PTC・PMTCの基礎知識／マネキン演習 エバチップの使用法、PMTC模型演習				事前学修：教科書Ⅲ編3章②- 2.PTC、PMTCを読むこと、歯面 研磨について復習しておくこと 事後学修：実習記録をまとめる こと		30	30	武山 真奈美 伊藤 恵美 穴戸 敦子 北村 麻衣	
2	PMTC 相互演習／プロービング、スケーリング、 歯の動揺度マネキン演習① 相互演習の手順・留意事項説明／患者1人目				事前学修：シラバス1回目の内 容を復習しておくこと 事後学修：実習記録をまとめる こと		30	30	武山 真奈美 伊藤 恵美 穴戸 敦子 北村 麻衣	
3	PMTC 相互演習／プロービング、スケーリング、 歯の動揺度マネキン演習② 患者2人目						30	30	武山 真奈美 伊藤 恵美 穴戸 敦子 北村 麻衣	
4	PMTC 相互演習／プロービング、スケーリング、 歯の動揺度マネキン演習③ 患者3人目／実習まとめ						30	30	武山 真奈美 伊藤 恵美 穴戸 敦子 北村 麻衣	
5	口腔内の情報収集 相互演習① （プロービング、歯の動揺度） 患者1人目、2人目				事前学修：プロービング、歯の 動揺度の内容を復習しておくこ と 事後学修：実習記録をまとめる こと		30	30	武山 真奈美 伊藤 恵美 三浦 悦子 北村 麻衣	
6	口腔内の情報収集 相互演習② （プロービング、歯の動揺度） 患者3人目、実習まとめ						30	30	武山 真奈美 伊藤 恵美 三浦 悦子 北村 麻衣	
7	歯石除去 相互演習① （スケーリング、歯面研磨） 相互演習の手順・留意事項説明、患者1人目				事前学修：スケーリング、歯面 研磨の内容を復習しておくこと 事後学修：実習記録をまとめる こと		30	30	武山 真奈美 伊藤 恵美 三浦 悦子 北村 麻衣	
8	歯石除去 相互演習① （スケーリング、歯面研磨） 患者2人目、患者3人目、実習まとめ						30	30	武山 真奈美 伊藤 恵美 三浦 悦子 北村 麻衣	
9	シャープニング（シクルスケーラー）パワースケー ラー（エアスケーラー）、歯面清掃器について クラ ス別演習				事前学修：教科書の該当ページ をよく読んで授業に臨むこと。 事後学修：授業を振り返り実習 記録をまとめること。		30	30	伊藤 恵美 武山 真奈美	
10	パワースケーラー（エアスケーラー）、歯面清掃器の 基本操作について クラス別演習				事前学修：前回の実習記録で復 習し授業に臨むこと。 事後学修：授業を振り返り実習 記録をまとめること。		30	30	伊藤 恵美 武山 真奈美 穴戸 敦子 北村 麻衣	
11	パワースケーラー（エアスケーラー）、歯面清掃器の 基本操作について クラス別演習				事前学修：前回の実習記録で復 習し授業に臨むこと。 事後学修：授業を振り返り実習 記録をまとめること。		30	30	伊藤 恵美 武山 真奈美 穴戸 敦子 北村 麻衣	
12	パワースケーラー（エアスケーラー）、歯面清掃器の 基本操作について クラス別演習				事前学修：前回の実習記録で復 習し授業に臨むこと。 事後学修：授業を振り返り実習 記録をまとめること。		30	30	伊藤 恵美 武山 真奈美 穴戸 敦子 北村 麻衣	

回	授業計画・学修の主題	準備学修	事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員
13	グレーシータイプキュレットの基本操作、エキスプローラー基本操作 講義 マネキン演習 クラス別演習	事前学修：前回の実習記録で復習し授業に臨むこと。 事後学修：授業を振り返り実習記録をまとめること。	30	30	伊藤 恵美 武山 真奈美
14	グレーシータイプキュレットの基本操作 マネキン実習（前歯）クラス別演習	事前学修：前回の実習記録で復習し授業に臨むこと。 事後学修：授業を振り返り実習記録をまとめること。	30	30	伊藤 恵美 武山 真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣
15	グレーシータイプキュレットの基本操作 マネキン実習（臼歯）クラス別演習	事前学修：前回の実習記録で復習し授業に臨むこと。 事後学修：授業を振り返り実習記録をまとめること。	30	30	伊藤 恵美 武山 真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣
16	グレーシータイプキュレットの基本操作 マネキン実習（臼歯）クラス別演習、次回相互演習説明	事前学修：前回の実習記録で復習し授業に臨むこと。 事後学修：授業を振り返り実習記録をまとめること。	30	30	伊藤 恵美 武山 真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣
17	グレーシータイプキュレットの基本操作（前歯部）（相互演習①・マネキン実習①）クラス別演習 グループワーク	事前学修：前回の実習記録で復習し授業に臨むこと。 事後学修：授業を振り返り実習記録をまとめること。	30	30	伊藤 恵美 武山 真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣
18	グレーシータイプキュレットの基本操作（前歯部）（相互演習②・マネキン演習②）クラス別演習 グループワーク	事前学修：前回の実習記録で復習し授業に臨むこと。 事後学修：授業を振り返り実習記録をまとめること。	30	30	伊藤 恵美 武山 真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣
19	グレーシータイプキュレットの基本操作（前歯部）（相互演習③・マネキン演習③）クラス別演習 グループワーク	事前学修：前回の実習記録で復習し授業に臨むこと。 事後学修：授業を振り返り実習記録をまとめること。	30	30	伊藤 恵美 武山 真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣
20	グレーシータイプキュレットの基本操作（左側臼歯部）（相互演習①・マネキン演習①）クラス別演習 グループワーク	事前学修：前回の実習記録で復習し授業に臨むこと。 事後学修：授業を振り返り実習記録をまとめること。	30	30	伊藤 恵美 武山 真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣
21	グレーシータイプキュレットの基本操作（左側臼歯部）（相互演習②・マネキン演習②）クラス別演習 グループワーク	事前学修：前回の実習記録で復習し授業に臨むこと。 事後学修：授業を振り返り実習記録をまとめること。	30	30	伊藤 恵美 武山 真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣
22	グレーシータイプキュレットの基本操作（左側臼歯部）（相互演習③・マネキン演習③）クラス別演習 グループワーク	事前学修：前回の実習記録で復習し授業に臨むこと。 事後学修：授業を振り返り実習記録をまとめること。	30	30	伊藤 恵美 武山 真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣
23	グレーシータイプキュレットの基本操作（右側臼歯部）（相互演習①・マネキン演習①）クラス別演習 グループワーク	事前学修：前回の実習記録で復習し授業に臨むこと。 事後学修：授業を振り返り実習記録をまとめること。	30	30	伊藤 恵美 武山 真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣
24	グレーシータイプキュレットの基本操作（右側臼歯部）（相互演習②・マネキン演習②）クラス別演習 グループワーク	事前学修：前回の実習記録で復習し授業に臨むこと。 事後学修：授業を振り返り実習記録をまとめること。	30	30	伊藤 恵美 武山 真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣
25	グレーシータイプキュレットの基本操作（右側臼歯部）（相互演習③・マネキン演習③）クラス別演習 グループワーク	事前学修：前回の実習記録で復習し授業に臨むこと。 事後学修：授業を振り返り実習記録をまとめること。	30	30	伊藤 恵美 武山 真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣
26	プロービング、スケーリング（超音波スケーラー）、歯面研磨 相互演習 患者1人目	事前学修：前回の実習記録で復習し授業に臨むこと。 事後学修：授業を振り返り実習記録をまとめること。	30	30	伊藤 恵美 武山 真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣
27	プロービング、スケーリング（超音波スケーラー）、歯面研磨 相互演習 患者2人目	事前学修：前回の実習記録で復習し授業に臨むこと。 事後学修：授業を振り返り実習記録をまとめること。	30	30	伊藤 恵美 武山 真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣
28	プロービング、スケーリング（超音波スケーラー）、歯面研磨 相互演習 患者3人目	事前学修：前回の実習記録で復習し授業に臨むこと。 事後学修：授業を振り返り実習記録をまとめること。	30	30	伊藤 恵美 武山 真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣
29	PMTc相互演習 患者1人目、2人目 グループワーク	事前学修：前回の実習記録で復習し授業に臨むこと。 事後学修：授業を振り返り実習記録をまとめること。	30	30	伊藤 恵美 武山 真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣
30	PMTc相互演習 患者3人目 グループワーク まとめ	事前学修：前回の実習記録で復習し授業に臨むこと。 事後学修：授業を振り返り実習記録をまとめること。	30	30	伊藤 恵美 武山 真奈美 宍戸 敦子 北村 麻衣
アクティブ・ラーニング	☐ 該当なし ☒ 該当あり：キーワード（ グループワーク、演習 ）				

教科書	『歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社 『歯科衛生士講座 歯周病学 第6版』永末書店
参考文献	『歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社
備考	全てクラス別で授業を行う。1～12、17～30回目は8階演習室、13～16回目は7階演習室。2、3回、5、6回、7、8回、10、11回は連続で授業を行う。 授業の冒頭で目標を示し授業の最後にまとめを行う。実習レポート・課題は提出期限厳守。添削後、返却する。 授業の進捗状況により順番が前後することがある。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)	
歯科診療所に18年、大学病院に12年勤務し、歯周病患者の口腔管理を行ってきた経験から、歯周病における歯科衛生士の役割と手法について授業を行う。	

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-2-DHP-08				
		●	●							
科目名	保健指導演習Ⅱ（臨床応用）				単位 認定者	佐藤陽子 大宮由布子 伊藤明日香		評価の方法	試験 （筆記）	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	2年	開講時期	通年	単位数	2 単位		試験 （実技）	10 %
						授業時間数	60 時間		受講態度	10 %
					授業形態	演習	授業回数		30 回	授業内課題
授業の概要	各ライフステージにおけるプロフェッショナルケアの目標を理解し、臨床例をとおして、対象者の問題解決に向けて対応できる能力を身につける。									
到達目標	歯科保健指導において歯科衛生士が使用するさまざまな口腔清掃用具の使用法を学ぶと共に基本的実技に習熟し、臨床の場に十分対応し得る能力を修得する。各ライフステージ別の口腔の問題点、生活背景を理解し、歯科衛生過程における指導計画の考察力を身につける									
学修者への期待等	1. 欠席・欠課をしないよう意欲を持って授業に臨んで欲しい。 2. 身だしなみをきちんと整え、教科書等忘れ物しないようにして欲しい。									
回	授業計画・学修の主題				準備学修		事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員	
1	ライフステージにおける歯科衛生介入 ④-1学齢期				事前学修：Ⅳ編 対象別の歯科衛生介入 1章 ライフステージに対応した歯科衛生介入④学齢 期P338～を読んでおく。 事後学修：授業記録をまとめて提出する。		30	30	伊藤 明日香	
2	ライフステージにおける歯科衛生介入 ⑤青年期 ⑥成人期				事前学修：Ⅳ編 対象別の歯科衛生介入 1章 ライフステージに対応した歯科衛生介入⑤青年 期P345～、⑥成人期P350～を読んでおく。 事後学修：授業記録をまとめて提出する。		30	30	伊藤 明日香	
3	ライフステージにおける歯科衛生介入 学童期・青年期・成人期 症例検討				事前学修：前回時の内容を復習する。 事後学修：授業記録をまとめて提出する。		30	30	伊藤 明日香 佐藤 陽子	
4	口腔清掃演習（100％術者みがき フロス） 患者①				事前学修：前時および1年次に学修した内容を 復習し授業に臨む。 事後学修：授業記録をまとめて提出する。		30	30	伊藤 明日香 佐藤 陽子	
5	口腔清掃演習（100％術者みがき フロス） 患者②③				事前学修：前時および1年次に学修した内容を 復習し授業に臨む。 事後学修：授業記録をまとめて提出する。		30	30	大宮 由布子 宍戸 敦子	
6	口腔清掃法（ブラッシング指導時の情報収 集）				事前学修：前時および1年次に学修した内容を 復習し授業に臨む。 事後学修：授業記録をまとめて提出する。		30	30	佐藤 陽子	
7	口腔清掃法（ブラッシング指導の実際 叢 生・補綴物）演習				事前学修：前時および1年次に学修した内容を 復習し授業に臨む。 事後学修：授業記録をまとめて提出する。		30	30	佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香	
8	ライフステージにおける歯科衛生介入 ①-2妊産婦期 症例検討				事前学修：Ⅳ編 対象別の歯科衛生介入 1章 ライフステージに対応した歯科衛生介入①妊産 婦期P312～を読んでおく。 事後学修：授業記録をまとめて提出する。		30	30	佐藤 陽子	
9	ライフステージにおける歯科衛生介入 ②-2新生児期・乳児期 症例検討				事前学修：Ⅳ編対象者別の歯科衛生介入P312～ 321を読み、内容を理解しておく。 事後学修：授業記録をまとめて提出する。		30	30	佐藤 陽子	
10	ライフステージにおける歯科衛生介入 ③-1幼児期				事前学修：Ⅳ編対象者別の歯科衛生介入P321～ 329を読み、内容を理解しておく。 事後学修：授業記録をまとめて提出する。		30	30	佐藤 陽子	
11	ライフステージにおける歯科衛生介入 ③-2幼児期 症例検討				事前学修：前回までの内容を理解しておく。 事後学修：授業記録をまとめて提出する。		30	30	佐藤 陽子	
12	小集団歯科保健指導法（発声・話法）検討 演習① （プレゼンテーション演習）				事前学修：前回までの内容を復習しておく。 事後学修：テーマに沿った発表の準備をして おくこと		30	30	大宮 由布子 佐藤 陽子 伊藤 明日香	
13	小集団歯科保健指導法（発声・話法）検討 演習② （プレゼンテーション演習） 全体発表				事前学修：グループ発表の準備をしておく。 事後学修：授業記録をまとめて提出する。		30	30	大宮 由布子 佐藤 陽子 伊藤 明日香	
14	洗口液・洗口剤 検討実習				事前学修：Ⅲ編P260～262を読み、専門用語を 理解しておく。 事後学修：授業記録をまとめて提出する。		30	30	大宮 由布子 佐藤 陽子 伊藤 明日香	
15	口腔清掃法（洗口剤）＊業者セミナー体験学修				事前学修：前回の授業内容を復習しておく。 事後学修：授業記録をまとめて提出する。		30	30	大宮 由布子	
16	口腔清掃法（音波ブラシ）				事前学修： 事後学修：授業記録をまとめて提出する。		30	30	大宮 由布子 佐藤 陽子 伊藤 明日香	
17	歯科衛生過程演習Ⅰ 客観的臨床能力（実 技試験） 講義 OSCE事前				事前学修：今までの授業内容を復習しておくこ と 事後学修：症例に応じた説明ができよう準備し ておく。		30	30	佐藤 陽子	

回	授業計画・学修の主題	準備学修	事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員
18	歯科衛生過程演習Ⅰ 客観的臨床能力判断 (実技試験)①	事前学修：症例に応じた患者説明ができるように準備しておく。 事後学修：授業記録をまとめ、提出する。	30	30	伊藤 明日香 佐藤 陽子 大宮 由布子 大宮 敦子
19	歯科衛生過程演習Ⅰ 客観的臨床能力判断 (実技試験)②	事前学修：症例に応じた患者説明ができるように準備しておくこと 事後学修：授業記録をまとめて提出する。	30	30	
20	歯科衛生介入の考え方 (PBL課題発見・課題 解決の考え方)	事前学修： 事後学修：授業記録をまとめて提出する。	30	30	佐藤 陽子
21	口腔清掃法演習 (症例：TBI、フロス) 患者①	事前学修：これまでの授業の復習をする。 事後学修：授業記録をまとめて提出する。	30	30	伊藤 明日香 佐藤 陽子 大宮 由布子
22	口腔清掃法演習 (症例：TBI、フロス) 患者②	事前学修：これまでの授業の復習をする。 事後学修：授業記録をまとめて提出する。	30	30	伊藤 明日香 佐藤 陽子 大宮 由布子
23	口腔清掃法演習 (症例：TBI、フロス) 患者②	事前学修：これまでの授業の復習をする。 事後学修：授業記録をまとめて提出する。	30	30	伊藤 明日香 佐藤 陽子 大宮 由布子
24	模擬患者実習①	事前学修：これまでの授業の復習をする。 事後学修：授業記録をまとめて提出する。	30	30	伊藤 明日香 佐藤 陽子 大宮 由布子 大宮 敦子
25	模擬患者実習②③	事前学修：これまでの授業の復習をする。 事後学修：授業記録をまとめて提出する。	30	30	
26	患者指導のための資料作成	事前学修：これまでの授業の復習をする。 事後学修：患者指導が行える資料を完成させて提出すること	30	30	大宮 由布子
27	患者指導の実際	事前学修：患者説明のための資料を完成する。 事後学修：授業記録をまとめて提出する。	30	30	大宮 由布子 佐藤 陽子 伊藤 明日香
28	口腔衛生指導演習Ⅱ TBI事例演習 相互演習(7)/ (術者1人目)	事前学修：これまでの授業の復習をする。 事後学修：授業記録をまとめて提出する。	30	30	大宮 由布子 伊藤 明日香 佐藤 陽子
29	口腔衛生指導演習Ⅱ TBI事例演習 相互演習(8)/ (術者2人目)	事前学修：これまでの授業の復習をする。 事後学修：授業記録をまとめて提出する。	30	30	大宮 由布子 伊藤 明日香 佐藤 陽子
30	口腔衛生指導演習Ⅱ TBI事例演習 相互演習(9)/ (術者3人目)	事前学修：これまでの授業の復習をする。 事後学修：授業記録をまとめて提出する。	30	30	大宮 由布子 伊藤 明日香 佐藤 陽子
アクティブ・ ラーニング	□該当なし ☑該当あり：キーワード (プレゼンテーション PBL 体験学修)				
教科書	「歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論第2版」全国士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社 「歯科衛生ケアプロセス実践ガイド」佐藤 陽子 齋藤淳編著 医歯薬出版株式会社				
参考文献	授業内で適宜紹介する				
備考	シラバス1～3, 8～11, 13, 17, 20, 26は合同講義。シラバス4・5, 18・19, 24・25は クラス別 8階演習室で2限続き。シラバス21～23, 28～30はABクラス別8階演習室。シラバス6, 7, 14, 15, 16はクラス別7階演習室。シラバス12はクラス別で702, 703, 704, 605教室。シラバス27はクラス別教室				

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)					
担当教員は歯科医院で5年以上の実務経験と歯科衛生士資格を有しており、その経験を活かした授業を展開します。また、学生が歯科保健指導業務について理解を深め、臨床現場に繋げることができるような実践的な授業を行います。					

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-2-CLT-11				
		●	●	●						
科目名	臨地実習指導（臨床応用）				単位認定者	大宮 由布子		評価の方法	レポート	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	2 年	開講時期	通年	単位数	1 単位		受講態度	20 %
						授業時間数	30 時間			
					授業形態	演習	授業回数		15 回	
授業の概要	臨地実習Ⅱ（臨床応用）の事前・事後指導を行う。事前指導では臨地実習Ⅰ（臨床基礎）を踏まえ、2年生で必要となる実践力、研究力の育成を目指す。事後指導では実習の反省を踏まえ、自己の課題を見出しながら、必要となる事柄の修得のための学びを深める。									
到達目標	①臨地実習の目的・概要および各施設の特徴、対象者について理解できる。 ②実習に向けて必要な知識・準備を整理し、他者と協力しながら信頼関係を大切にしながら実習に臨むことができる。 ③事前課題や実習後の振り返りを通して、自己の課題を明確にし改善できる。									
学修者への期待等	1年次の学修成果を活かし、集団指導では各実習施設や対象者の特徴を理解したうえで、実習メンバーと協力しながら、それぞれに合わせた指導内容を計画し実践できること。 臨床では、様々な患者さんへの対応やスタッフとの連携がとれるコミュニケーション能力を身につけ、責任感を持って行動できるように、事前課題や事後の振り返りを行い、常に学ぶ姿勢を忘れずに取り組むことを期待しています。									
回	授業計画・学修の主題				準備学修		事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員	
1	相互台小学校・通町小学校 学校歯科健診・集団歯科保健指導実習の目的および概要				事前学修：歯科衛生学シリーズ『歯科予防処置論・歯科保健指導論』V編2章P405表V-2-1「歯・口の健康づくりのねらいと内容例」、P406表V-2-2「歯・口の健康づくりと食育内容」、表V-2-3発達段階に即した歯みがき指導の重点のを読んでおくこと。 事後学修：指導案内容に沿って準備に取り組むこと。		30	30	伊藤 明日香	
2	相互台小学校・通町小学校 学校歯科健診・集団歯科保健指導実習指導案作成 グループワーク						30	30	伊藤 明日香	
3	歯科診療所実習Ⅰ 目的および概要				事前学修：1年次の歯科診療所実習について振り返り、自身の課題を確認しておくこと。各自の実習施設について、特徴および主な診療内容を調べておくこと。 事後学修：目的、概要をまとめ課題に取り組むこと。		30	30	大宮 由布子	
4	歯科診療所実習Ⅰ 留意事項の確認 事例検討				事前学修：前時授業内容について復習しておくこと。 事後学修：留意事項、事例について復習すること。		30	30	大宮 由布子	
5	歯科診療所実習Ⅰ 報告会①				事前学修：各自、歯科診療所実習Ⅰの振り返りを行いプレゼンテーションの準備をしておくこと。 事後学修：実習日誌を確認し、課題への取り組みを行うこと。		60	30	大宮 由布子 伊藤 恵美 佐藤 陽子 花渕 静 武山 真奈美 西條 佳奈 伊藤 明日香	
6	歯科診療所実習Ⅰ 報告会②									
7	保育園実習の目的および概要				事前学修：歯科衛生学シリーズ『歯科予防処置論・歯科保健指導論』V編2章P405表V-2-1「歯・口の健康づくりのねらいと内容例」、P406表V-2-2「歯・口の健康づくりと食育内容」、表V-2-3発達段階に即した歯みがき指導の重点のを読んでおくこと。 事後学修：		30	30	花渕 静 武山 真奈美	
8	保育園実習 対象者の理解 保育士の立場から				事前学修：前時の実習指導内容を復習しておくこと。 事後学修：授業内容をまとめ、課題に取り組むこと。		60	30	鈴木 享之	

回	授業計画・学修の主題	準備学修	事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員
9	保育園実習 報告会 グループワーク	事前学修：グループ発表の準備をしておくこと。 事後学修：自身の課題や改善点など今後の臨床実習に活かせるように取り組むこと。	60	30	大宮 由布子 伊藤 恵美 佐藤 陽子 花渕 静 武山 真奈美 西條 佳奈 伊藤 明日香
10	保育園実習 報告会 グループワーク				
11	東北大学病院歯科部門臨床実習の目的および概要	事前学修：東北大学病院歯科部門について概要および各診療科の特徴を調べておくこと。 事後学修：目的、概要をまとめ、次回までの課題に取り組むこと。	30	30	佐藤 陽子 伊藤 恵美
12	歯科診療所実習Ⅱの目的および概要	事前学修：歯科診療所実習Ⅰを振り返り、自身の課題を確認すること。歯科診療所実習Ⅱについて、各自の臨床実習施設の特徴および主な診療内容を調べておくこと。 事後学修：目的、概要をまとめ、次回までの課題に取り組むこと。	30	30	大宮 由布子
13	東北大学病院歯科部門臨床実習・歯科医院実習Ⅱ 留意事項および事例検討	事前学修：前時の復習と留意事項の確認、事前課題について取り組んでおくこと。 事後学修：目的、概要をまとめ、次回までの課題に取り組むこと。	30	30	佐藤 陽子 大宮 由布子
14	東北大学病院歯科部門臨床実習 報告会	事前学修：各自、実習の振り返りを行い発表の準備をしておくこと。 事後学修：自身の課題や改善点など今後の臨床実習に活かせるように取り組むこと。	30	30	佐藤 陽子 大宮由布子 伊藤恵美 花渕静 武山真奈美 西條佳奈 伊藤明日香
15	歯科診療所実習Ⅱ 報告会		30	30	
アクティブ・ラーニング	□該当なし ☑該当あり：キーワード（グループワーク、プレゼンテーション）				
教科書	専門展開科目で使用する教科書				
参考文献	授業内で適宜紹介する。				
備考	授業の進捗状況により授業計画の順番が前後することがある。 シラバス1・2回、5・6回、9・10回、14・15回は連続の授業とする。				

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)					
各講師は臨床経験豊富な歯科衛生士と保育士教育において教育歴が10年以上の講師で構成され、それぞれの専門分野（感染予防、周術期、摂食嚥下、歯科保健指導、歯科診療補助、歯科予防処置、幼児とのコミュニケーションなど）に特化した内容の授業を行います。学生が臨床現場において安全・確実に実践力を身につけられるような授業を展開します。					

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング DH-0-HSC-01				
	●	●								
科目名	スポーツレクリエーション				単位 認定者	菅原 一昭		評価の方法	授業内課題	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	選択	3年	開講時期	後期	単位数	1 単位		受講態度	30 %
						授業時間数	20 時間			
					授業形態	演習	授業回数		10 回	
授業の概要	スポーツレクリエーションを通じて、集団活動での協調性、安全についての理解を深めるとともに、集団活動から全体の規律・態度を学ぶ。また、子どもから高齢者・障がい者に及ぶ幅広いライフステージでの心身の発育とその特徴を学修し、歯科保健活動の際の導入段階としてレクリエーションを楽しく活用できる能力を養う。更に、運動の楽しさや喜びを深く体験することを通して、心身ともに健康な生活が送れる習慣を身につける。									
到達目標	レクリエーション支援活動を通じて、幼児・児童、高齢者、障がい者に対する理解を深め、歯科保健活動において積極的にレクリエーション支援活動を取り入れる。また、自分自身でも生涯を通じて心身ともに健康を送れるような生活習慣が身につけること。									
学修者への期待等	幼児・児童・高齢者・障がい者に対するレクリエーション支援の方法を学習し、実践すること。									
回	授業計画					準備学修			事前学修時間 (分)	事後学修時間 (分)
1	授業ガイダンス（講義の概要・バス・体育館説明・評価方法等） レクリエーション支援に関わる諸理論 レクリエーションの意義と役割 アイスブレイキング、ホスピタリティ理論（地下ラウンジ）					事前学修：レクリエーションとは何か。 事後学修：配布されたプリントは、回収し授業内課題として評価する。			30	30
2	歯科保健活動での幼児・児童に対するレクリエーション理解 身近にある知育のアイディア 知育の効果を上げるプランニング等（地下ラウンジ）					事前学修：幼児・児童に対するレクリエーション支援活動についての意義について理解を深めておく。 事後学修：配布されたプリントは、回収し授業内課題として評価する。			30	30
3	歯科保健活動での高齢者に対するレクリエーション理解 楽しむためのサポートポイント レクリエーション支援の組み立て方、展開方法（地下ラウンジ）					事前学修：高齢者者に対するレクリエーション支援活動についての意義について理解を深めておく。 事後学修：配布されたプリントは、回収し授業内課題として評価する。			30	30
4	歯科保健活動での幼児・児童を対象とした計画・実施の流れ 企画書作成、グループ発表（地下ラウンジ）					事前学修：各対象者に対するレクリエーション支援活動についての意義について理解を深めておく。 事後学修：配布されたプリントは、回収し授業内課題として評価する。			30	30
5	高齢者に対するレクリエーション支援活動 高齢者の介護予防支援におけるスポーツレクリエーションの取り組み事例から学ぶ（体育館）					事前学修：各対象者に対するレクリエーション支援活動についての意義について理解を深めておく。 事後学修：配布されたプリントは、回収し授業内課題として評価する。			30	30
6										
7	障がい者に対するレクリエーション支援活動 障がい者の自立支援におけるスポーツレクリエーションの取り組み事例から学ぶ（体育館）					事前学修：各対象者に対するレクリエーション支援活動についての意義について理解を深めておく。 事後学修：配布されたプリントは、回収し授業内課題として評価する。			30	30
8										
9	生涯に繋がるスポーツレクリエーション活動 多様なスポーツレクリエーションの実践事例から学ぶ総括（体育館）					事前学修：各対象者に対するレクリエーション支援活動についての意義について理解を深めておく。 事後学修：配布されたプリントは、回収し授業内課題として評価する。			30	30
10										
アクティブ・ラーニング	□該当なし ☑該当あり：キーワード（ 体験、プランニング、グループ発表 ）									
教科書	なし									
参考文献	必要に応じて文献・資料を用意する。									
備考	2クラスに分かれて授業を行う。 1～4回目は、地下ラウンジにて実施。（座席については、初回時スライドに投影いたしますので、各自確認すること）。 5～10回目は、体育館にて実施。（上下運動着、上靴持参）。土足厳禁。バス内での飲食禁止。事前に着替えてくること。 授業内課題は、添削後に授業内でフィードバックを行う。									
※以下は該当者のみ記載する。										
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)										
高等学校・専門学校教諭30年。保健体育科専修免許。福祉レクリエーション・ワーカー資格取得。										

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-1-DHB-12				
	●									
科目名	一般臨床医学				単位認定者	伊藤 恵美		評価の方法	試験（筆記）	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	3 年	開講時期	前期	単位数	1 単位		授業内課題等	10 %
						授業時間数	20 時間		受講態度	20 %
					授業形態	講義	授業回数		10 回	
授業の概要	歯科を受診する患者の多くが生活習慣病などの何らかの疾患を持っていると考える必要がある。その対応のために、口腔内のみならず、全身管理の視点を持つ必要がある。本科目では歯科衛生士として必要な一般的な臨床医学の知識と主要な疾患の概要を理解する。									
到達目標	歯科衛生士として学ぶべき全身疾患の基礎知識を身につける。また、全身疾患がある患者さんに対しての歯科治療を行う際の注意点を学ぶ。									
学修者への期待等	多様な価値観と様々なライフステージの対象を理解するため、「人間」「環境」「健康」について知識を身につけ、人々の健康保持・増進に向けて歯科衛生士としての役割を考えてほしい。									
回	授業計画・学修の主題				準備学修		事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員	
1	代謝性疾患—先天性代謝異常症、メタボリックシンドローム、糖尿病、脂質異常症、痛風など、内分泌疾患—視床下部・下垂体系、副腎疾患、甲状腺疾患など				事前学修：教科書の代謝・内分泌疾患に目を通しておくこと。		20	0	伊藤 恵美	
2	女性の体の基礎解剖・性ホルモンなどの理解				事前学修：教科書P140～148産科・婦人科疾患・妊娠の内容について予習しておくこと。		30	0	佐藤 理恵	
3	老化と加齢変化、精神・神経障害、認知症、脳血管障害、パーキンソン病など				事前学修：教科書の神経疾患、精神疾患に目を通しておくこと。		30	0	伊藤 恵美	
4	妊娠・出産・産褥の理解				事前学修：教科書P140～148産科・婦人科疾患・妊娠の内容について予習しておくこと。		30	0	佐藤 理恵	
5	アレルギー性皮膚疾患				事前学修：事前に配布される教科書の「皮膚疾患」の項に目を通すこと。		30	0	柿沼 誉	
6	皮膚感染症、皮膚腫瘍				事前学修：事前に配布される教科書の「皮膚疾患」の項に目を通すこと。		30	0	柿沼 誉	
7	子どもの成長発達・食行動の発達の理解								佐藤 幸子	
8	基本的な聴覚系・前庭系の生理解剖を学ぶ				事前学修：聴覚器の構造を把握しておくこと。		20	0	渡邊 弘人	
9	子どもの健康教育・指導に必要な基礎知識、感染症・発達障害など								佐藤 幸子	
10	聴覚系・前庭系の疾患、治療、対応を学ぶ				事前学修：自分が耳鼻咽喉科疾患になった時の症状を思い出すこと。		20	0	渡邊 弘人	
アクティブ・ラーニング	☑該当なし ☐該当あり：キーワード（ ）									
教科書	『歯科衛生士のための全身疾患ハンドブック』橋本賢二・増本一真編著、医歯薬出版株式会社 他に適宜プリントを配布する。									
参考文献	なし									
備考	レポート課題などが出題された場合は回収後、採点し、次回総括する。									

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)
各講師は、専門分野における臨床経験と教育歴があり、歯科臨床において必要な全身疾患の基礎知識について授業を行います。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-2-DHP-05				
		●								
科目名	歯周病予防法（臨床応用）				単位認定者	伊藤 恵美		評価の方法	試験（筆記）	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	3 年	開講時期	通年	単位数	2 単位		受講態度	20 %
						授業時間数	40 時間			
				授業形態	演習	授業回数	20 回			
授業の概要	「歯科予防処置法」「歯周病予防法（臨床基礎）」で学んだ、歯周病予防法の知識・技術をもとに、歯科衛生士としての専門知識・技術を修得し、相互演習を通して実践する力と態度を学ぶ。また、歯と口腔の健康を維持・増進のために継続的なメインテナンスの必要性を理解し、歯周管理の実践の手技を修得する。									
到達目標	1. 対象者の口腔内状態や生活背景を踏まえ、歯周病予防に必要な技術を適切に選択・応用し、継続的な口腔衛生管理を実践できる能力を身につける。 2. 安全性と効果を考慮しながら施術することができる。									
学修者への期待等	1. 身だしなみをきちんと整え、教科書等の忘れ物がないように授業に臨むこと。 2. 欠席・欠課をしないよう意欲的臨んでほしい。									
回	授業計画・学修の主題					準備学修		事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員
1	歯周治療における歯科衛生士の役割（歯周治療の流れと歯科衛生士業務）、メインテナンス、SPTの実際（歯周組織検査）、業務記録の書き方 プロービングマネキン演習					事前学修：教本Ⅱ編「③歯周病」をよく読んでおくこと。 事後学修：本日の復習を行う。		30	30	伊藤 恵美 武山真奈美
2	歯周組織検査演習（患者1、2、3）グループワーク					事前学修：歯周組織検査について復習をしておくこと。 事後学修：本日の演習を振り返り実習記録を書いて提出する。		30	30	伊藤 恵美 武山真奈美 北村 麻衣
3	歯周組織検査演習（1、3年合同演習）グループワーク 相互実習説明（流れ、記録の記入について）					事前学修：前回の復習をして授業に臨むこと。 事後学修：本日の演習を振り返り実習記録を書いて提出する。		30	30	伊藤 恵美 武山真奈美 北村 麻衣
4	歯周組織検査、PTC演習（手用スケーラー、超音波スケーラー、歯面研磨）グループワーク（患者1人目）、確認染め出し					事前学修：前回の復習をして授業に臨むこと。 事後学修：本日の演習を振り返り実習記録を書いて提出する。		30	30	伊藤 恵美 武山真奈美 北村 麻衣
5	歯周組織検査、PTC演習（手用スケーラー、超音波スケーラー、歯面研磨）グループワーク（患者2人目）、確認染め出し					事前学修：前回の復習をして授業に臨むこと。 事後学修：本日の演習を振り返り実習記録を書いて提出する。		30	30	伊藤 恵美 武山真奈美 北村 麻衣
6	歯周組織検査、PTC演習（手用スケーラー、超音波スケーラー、歯面研磨）グループワーク（患者3人目）、確認染め出し					事前学修：前回の復習をして授業に臨むこと。 事後学修：本日の演習を振り返り実習記録を書いて提出する。		30	30	伊藤 恵美 武山真奈美 北村 麻衣
7	PTC相互演習 患者1人目（上下 術者交代）クラス別演習 グループワーク					事前学修：前回の復習をして授業に臨むこと。 事後学修：本日の演習を振り返り実習記録を書いて提出する。		30	30	伊藤 恵美 武山真奈美 北村 麻衣
8	PTC相互演習 患者2人目（上下 術者交代）クラス別演習 グループワーク					事前学修：前回の復習をして授業に臨むこと。 事後学修：本日の演習を振り返り実習記録を書いて提出する。		30	30	伊藤 恵美 武山真奈美 北村 麻衣
9	PTC相互演習 患者3人目（上下 術者交代）クラス別演習 グループワーク					事前学修：前回の復習をして授業に臨むこと。 事後学修：本日の演習を振り返り実習記録を書いて提出する。		30	30	伊藤 恵美 武山真奈美 北村 麻衣

回	授業計画・学修の主題	準備学修	事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員
10	S R P後の評価と処置 演習 1 ①イリゲーション、②手用スケーラー、EPP、③超音波スケーラー クラス別演習 グループワーク	事前学修：前回の復習をして授業に臨むこと。 事後学修：本日の演習を振り返り実習記録を書いて提出する。	30	30	伊藤 恵美 武山真奈美 北村 麻衣
11	S R P後の評価と処置 演習2 ①イリゲーション、②手用スケーラー、EPP、③超音波スケーラー クラス別演習 グループワーク	事前学修：前回の復習をして授業に臨むこと。 事後学修：本日の演習を振り返り実習記録を書いて提出する。	30	30	伊藤 恵美 武山真奈美 北村 麻衣
12	S R P後の評価と処置 演習3 ①イリゲーション、②手用スケーラー、EPP、③超音波スケーラー クラス別演習 グループワーク	事前学修：前回の復習をして授業に臨むこと。 事後学修：本日の演習を振り返り実習記録を書いて提出する。	30	30	伊藤 恵美 武山真奈美 北村 麻衣
13	PTC相互演習 患者 1 人目 クラス別演習 グループワーク	事前学修：前回の復習をして授業に臨むこと。 事後学修：本日の演習を振り返り実習記録を書いて提出する。	30	30	伊藤 恵美 武山真奈美 北村 麻衣
14	PTC相互演習 患者 2 人目 クラス別演習 グループワーク	事前学修：前回の復習をして授業に臨むこと。 事後学修：本日の演習を振り返り実習記録を書いて提出する。	30	30	伊藤 恵美 武山真奈美 北村 麻衣
15	PTC相互演習 患者 3 人目 クラス別演習 グループワーク	事前学修：前回の復習をして授業に臨むこと。 事後学修：本日の演習を振り返り実習記録を書いて提出する。	30	30	伊藤 恵美 武山真奈美 北村 麻衣
16	PTC相互演習 患者 1 人目 クラス別演習 グループワーク	事前学修：前回の復習をして授業に臨むこと。 事後学修：本日の演習を振り返り実習記録を書いて提出する。	30	30	伊藤 恵美 武山真奈美 北村 麻衣
17	PTC相互演習 患者 2 人目 クラス別演習 グループワーク	事前学修：前回の復習をして授業に臨むこと。 事後学修：本日の演習を振り返り実習記録を書いて提出する。	30	30	伊藤 恵美 武山真奈美 北村 麻衣
18	PTC相互演習 患者 3 人目 クラス別演習 グループワーク	事前学修：前回の復習をして授業に臨むこと。 事後学修：本日の演習を振り返り実習記録を書いて提出する。	30	30	伊藤 恵美 武山真奈美 北村 麻衣
19	手用スケーラーの固定法（口腔外固定、保持固定） クラス別演習 クループワーク	事前学修：教本の「固定法」をよく読んで授業に臨むこと。 事後学修：本日の演習を振り返り実習記録を書いて提出する。	30	30	伊藤 恵美 武山真奈美 北村 麻衣
20	手用スケーラー シャープニング クラス別演習 まとめ	事前学修：教本の「シャープニング」をよく読んで授業に臨むこと。 事後学修：本日の演習を振り返り実習記録を書いて提出する。	30	30	伊藤 恵美 武山真奈美
アクティブ・ラーニング	☐ 該当なし ☒ 該当あり：キーワード（ グループワーク、演習 ）				
教科書	『歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社 『歯科衛生士講座 歯周病学 第5版』永末書店				
参考文献	『歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 1 保健生態学』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社				
備考	全てクラス別演習を行う。5、6回は連続で授業を行う。 授業の冒頭で目標を示し授業の最後にまとめを行う。演習レポート・課題は提出期限厳守。添削後、返却する。授業の進捗状況により順番が前後することがある。				

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

歯科診療所に18年、大学病院に12年勤務し、歯周病患者の口腔管理を行ってきた経験から、歯周病における歯科衛生士の役割と手法について授業を行う。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-2-DHP-09					
		●	●								
科目名	保健指導演習Ⅲ（臨床総合）					単位 認定者	佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香		評価の方法	試験（筆記）	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	3 年	開講時期	通年	単位数	2 単位	試験（実技）		10 %	
						授業時間数	60 時間	受講態度		10 %	
				授業形態	演習	授業回数	30 回	授業内課題		10 %	
授業の概要	「保健指導論」、「保健指導演習Ⅰ（臨床基礎）」、「保健指導演習Ⅱ（臨床応用）」を通して学んだ内容について、歯科衛生過程を用いて、実践する能力を身につける。										
到達目標	①歯科衛生過程（歯科衛生ケアプロセス）に基づいた思考および実践ができる。 ②各症例または事例における問題発見、解決方法を選択できる。 ③口腔健康管の意義を理解し、口腔清掃指導を実践できる。										
学修者への期待等	1 年次、2 年次に学んだ基礎および臨床科目の内容について、より実践的に取り組む授業です。欠席せず、予習・復習をしっかりと行い、意欲的に受講してください。										
回	授業計画・学修の主題					準備学修		事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員	
1	歯科衛生過程 事例検討					事前学修：歯科衛生ケアプロセス実践ガイドⅡ編 「歯科衛生ケアプロセスを臨床に活かしてみよう」、 1 年次～と2年次の保健指導演習で学んだ内容を復習 して授業に臨むこと。 事後学修：授業記録をまとめること。		30	30	佐藤 陽子	
2	歯科衛生過程 事例検討（グループワーク）					事前学修：前時授業の復習とグループワークにむけ予 習をすること。 事後学修：授業記録をまとめること。		30	30	佐藤 陽子	
3	歯科衛生過程演習Ⅰ 1・3 合同実習概要説明					事前学修：前時の講義内容および歯科衛生ケアプロセ ス実践ガイドⅡ編 歯科衛生ケアプロセスを臨床に活かしてみようP2 0～82を復習しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめること。		30	30	佐藤 陽子	
4	歯科衛生過程演習Ⅰ 相互演習(1)/（術者1人目）					事前学修：前時の授業内容および1・3 合同実習の概 要資料を確認しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめること。		30	30	大宮 由布子 佐藤 陽子 伊藤 明日香 矢戸 敦子	
5	歯科衛生過程演習Ⅰ 相互演習(2)/（術者2、3人目）					事前学修：前時の授業内容および1・3 合同実習の概 要資料を確認しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめること。		30	30	大宮 由布子 佐藤 陽子 伊藤 明日香 矢戸 敦子	
6	歯科衛生過程演習Ⅱ 1・3 合同実習 前半 相互演習(1)/（術者1人目）					事前学修：前時の授業内容および1・3 合同実習の概 要資料を確認しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめること。		30	30	大宮 由布子 佐藤 陽子 伊藤 明日香 矢戸 敦子	
7	歯科衛生過程演習Ⅱ 1・3 合同実習 前半 相互演習(2)/（術者2、3人目）					事前学修：前時の授業内容および1・3 合同実習の概 要資料を確認しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめること。		30	30	大宮 由布子 佐藤 陽子 伊藤 明日香 矢戸 敦子	
8	歯科衛生過程演習Ⅲ 1・3 合同実習 後半 相互演習(1)/（術者1人目）					事前学修：歯科衛生過程演習Ⅰで実践した内容を復習 し、対象者に合わせた歯科保健指導について予習して おくこと。 事後学修：授業記録をまとめること。		30	30	大宮 由布子 佐藤 陽子 伊藤 明日香 矢戸 敦子	
9	歯科衛生過程演習Ⅲ 1・3 合同実習 後半 相互演習(2)/（術者2、3人目）					事前学修：歯科衛生過程演習Ⅰで実践した内容を復習 し、対象者に合わせた歯科保健指導について予習して おくこと。 事後学修：授業記録をまとめること。		30	30	大宮 由布子 佐藤 陽子 伊藤 明日香 矢戸 敦子	
10	歯科衛生過程演習Ⅳ （口腔衛生指導の評価） プレゼンテーション演習(1)/Aグループ					事前学修：歯科衛生過程演習Ⅱで実施した内容につい てプレゼンテーションできる準備をしておくこと。 事後学修：実施した感想、改善点などを授業記録にま とめること。		60	30	大宮 由布子 佐藤 陽子 伊藤 明日香	
11	歯科衛生過程演習Ⅳ （口腔衛生指導の評価） プレゼンテーション演習(2)/Bグループ					事前学修：歯科衛生過程演習Ⅱで実施した内容につい てプレゼンテーションできる準備をしておくこと。 事後学修：実施した感想、改善点などを授業記録にま とめること。		60	30	大宮 由布子 佐藤 陽子 伊藤 明日香	

回	授業計画・学修の主題	準備学修	事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員
12	要介護高齢者の口腔管理 (義歯の取り扱い、スポンジブラシ)	事前学修：2年次に学んだライフステージ（要介護高齢者）について復習し、教科書Ⅲ編4章①～②⑤）スポンジブラシ、7）義歯用ブラシ、4義歯洗浄剤、安定剤を読んでおくこと。 事後学修：授業記録をまとめること。	30	30	佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香
13	在宅訪問口腔衛生管理 (車椅子上での口腔清掃方法、清掃用具の選択他)	事前学修：2年次に学んだライフステージ（要介護高齢者）、高齢者歯科学、前時の授業について復習しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめること。	30	30	佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香
14	在宅訪問口腔衛生管理 相互実習	事前学修：2年次に学んだライフステージ、高齢者歯科学、前時の授業について復習しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめること。	30	30	佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香
15	要介護高齢者における食支援の考え方	事前学修：2年次のライフステージ、高齢者歯科学について復習しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめること。	30	30	佐藤 陽子
16	要介護高齢者における食支援・食介助	事前学修：前時の授業について復習しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめること。	30	30	佐藤 陽子
17	ライフステージ別ブラッシング指導（各種歯ブラシの特徴）	事前学修：2年次に学んだライフステージ、各種口腔清掃用具について復習しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめること。	30	30	大宮 由布子
18	ライフステージ別ブラッシング指導の実際	事前学修：2年次に学んだライフステージ、各種口腔清掃用具について復習しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめること。	30	30	大宮 由布子
19	禁煙支援 喫煙による口腔への影響について (演習)	事前学修：2年次に学んだライフステージ（成人期）について復習し、教科書Ⅲ編4章③生活習慣の指導を予習しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめること。	30	30	大宮 由布子
20	口腔衛生管理 口腔清掃指数（OHI、OHI-S、PII、PHP）	事前学修：教科書Ⅲ編2章⑧分析のためのデータを読んで予習しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめること。	30	30	大宮 由布子
21	洗口剤の取り扱い	事前学修：教科書Ⅲ編4章①～3。洗口剤、洗口液を予習しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめること。	30	30	大宮 由布子
22	地域歯科保健活動 災害時の歯科保健 大規模災害時の保健医療対策	事前学修：教科書Ⅳ編2章③大規模災害被災者を予習しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめること。	30	30	大宮 由布子 阿部 夕
23	地域保健活動 災害時の歯科保健 グループワーク	事前学修：教科書Ⅳ編2章③大規模災害被災者を予習しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめること。	30	30	大宮 由布子 阿部 夕
24	症例検討 X線読影 グループワーク	事前学修：2年次の臨床科目（放射線学、歯周病学他）を復習しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめること。	30	30	佐藤 陽子
25	歯科衛生過程演習Ⅴ 客観的臨床能力の判断 概要説明	事前学修：歯科衛生過程演習について復習しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめること。	30	30	佐藤 陽子
26	歯科衛生過程演習Ⅴ 客観的臨床能力の判断 （実技試験）①	事前学修：前時の授業内容、客観的能力試験の概要について確認しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめること。	60	30	大宮 由布子 佐藤 陽子 伊藤 明日香 宍戸 敦子
27	歯科衛生過程演習Ⅴ 客観的臨床能力の判断 （実技試験）②	事前学修：前時の授業内容、客観的能力試験の概要について確認しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめること。	60	30	大宮 由布子 佐藤 陽子 伊藤 明日香 宍戸 敦子
28	口腔衛生管理（PCR、TBI） 相互演習(1)/術者1人目	事前学修：3年間で学んだ内容を復習し、実践できるよう予習しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめること。	30	30	大宮 由布子 佐藤 陽子 伊藤 明日香 宍戸 敦子
29	口腔衛生管理（PCR、TBI） 相互演習(2)/術者2人目	事前学修：3年間で学んだ内容を復習し、実践できるよう予習しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめること。	30	30	大宮 由布子 佐藤 陽子 伊藤 明日香 宍戸 敦子

回	授業計画・学修の主題	準備学修	事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員
30	口腔衛生管理 (PCR、TBI) 相互演習(3)/術者3人目	事前学修：3年間で学んだ内容を復習し、実践できるよう予習しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめること。	30	30	大宮 由布子 佐藤 陽子 伊藤 明日香 穴戸 敦子
アクティブ・ラーニング	☐ 該当なし ☒ 該当あり：キーワード（グループワーク、プレゼンテーション、相互演習）				
教科書	『歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社 『歯科衛生ケアプロセス実践ガイド』佐藤陽子 齋藤淳編著 医歯薬出版株式会社				
参考文献	授業内で適宜紹介する。				
備考	シラバス1～3, 19, 20, 24, 25は教室で合同講義、シラバス22, 23は教室で合同2限続き、シラバス4～9, 26, 27は8階演習室でクラス別2限続き、シラバス28～30回目は8階実習室でクラス別、シラバス10, 11はクラス別教室（801, 802, 704教室）、シラバス17, 18は合同で2限続き（801, 802, 7階演習室）、シラバス12, 21回目は7階演習室でクラス別、シラバス13～16は7階演習室でクラス別2限続き。授業記録、レポートおよび課題は添削後、授業内で総括する。 1・3年生合同実習の回は、1年生の一部が正課外にて参加する。				

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)	
担当教員は歯科医院で5年以上の実務経験と歯科衛生士資格を有しており、その経験を活かした授業を展開します。また、学生が歯科保健指導業務について理解を深め、臨床現場に繋げることができるような実践的な授業を行います。	

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	DH-2-DHP-11				
		●								
科目名	口腔リハビリテーション演習				単位認定者	佐藤 陽子		評価の方法	試験 (筆記)	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	選択	3年	開講時期	前期	単位数	1 単位		受講態度	10 %
						授業時間数	20 時間		授業内提出物	10 %
					授業形態	演習	授業回数		10 回	
授業の概要	摂食・嚥下のしくみとそれにかかわる障害についての歯科衛生士としての役割を理解する。摂食嚥下障害を克服する口腔リハビリテーションについて障害別に学び、ディスカッションを交えてプログラムを立案する。さらに相互演習を通じて技術の修得に努める。									
到達目標	口腔リハビリテーションチームの中での歯科衛生士の役割を理解する。									
学修者への期待等	口腔リハビリテーションは、患者様の健康とQOLに密接に関わる領域であり、チームの一員として患者様の食に関わります。真摯な態度で学んでいただくことを希望します。									
回	授業計画・学修の主題				準備学修		事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員	
1	摂食嚥下障害に対する訓練計画 症例検討準備				事前学修：2年時に学習した摂食嚥下に関する解剖生理について復習する。 事後学修：授業記録をまとめて提出する。		30	30	佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香	
2	摂食嚥下障害の対応1 症例検討 他職種とのディスカッション				事前学修：症例に対する自分自身の考えをまとめておく。 事後学修：グループ発表の準備をしてください。		60	60	渡邊 弘人 佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香	
3	摂食嚥下障害の対応2 他職種との合同発表				事前学修：グループ発表のスライドを準備する 事後学修：授業アンケートの記載をお願いします。		30	30	渡邊 弘人 佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香	
4	摂食嚥下障害とは 摂食嚥下障害の概要				事前学修：教科書Chapter摂食嚥下のメカニズムP34～55を読んでおくこと 事後学修：授業記録をまとめて提出する。		30	30	佐藤 陽子	
5	歯科衛生士の行う専門的な口腔ケア1 リスクマネジメント概要				事前学修：教科書Chapter7リスクマネジメントを読んでおくこと 事後学修：授業記録をまとめて提出する。		30	30	佐藤 陽子	
6	歯科衛生士の行う専門的な口腔ケア2 吸引器の取り扱い 相互実習				事前学修：前回の授業の内容を復習しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめて提出する。		30	30	佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香	
7	歯科衛生士の行う専門的な口腔ケア3 臥床時の口腔ケア 相互実習				事前学修：前回の授業の内容を復習しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめて提出する。		30	30	佐藤 陽子 大宮 由布子 伊藤 明日香	
8	急性期・回復期の摂食嚥下リハビリテーション「歯科衛生士の役割」				事前学修：前回の授業内容を復習しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめて提出する。		30	30	児玉 俊恵	
9	摂食嚥下リハビリテーションへの取り組み（症例：小児障害児）				事前学修：教科書Chapter12歯科衛生士が行う摂食嚥下リハビリテーションの基本を読んでおくこと 事後学修：授業記録をまとめて提出する。		30	30	佐藤 陽子	
10	摂食嚥下リハビリテーションへの取り組み（総括）				事前学修：前回までの授業内容を復習しておくこと。 事後学修：授業記録をまとめて提出する。		30	30	佐藤 陽子	
アクティブ・ラーニング	□該当なし ☑該当あり：キーワード（ディスカッション グループワーク）									
教科書	「歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション第2版」 日本歯科衛生士会監修 医歯薬出版株式会社									
参考文献	講義の中で適宜紹介する									
備考	シラバス1,4,5, 8～10回は教室で合同講義。シラバス2,3回は言語聴覚学科「言語聴覚障害学総論」と合同授業。シラバス6, 7回はクラス別4階言語聴覚学科演習室にて実習。									

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)	
歯科診療所、行政での実務経験あり。日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士の資格を持つ教員が教授する。	

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング					
						DH-2-DHP-18					
	●	●									
科目名	救急法・救急蘇生法				単位 認定者	下田 元 菅原 一昭		評価の方法	試験（筆記）	35	%
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	3 年	開講時期	後期 <th>単位数</th> <td>1 単位</td> <td>試験（実技）</td> <td>65</td> <td>%</td>	単位数	1 単位		試験（実技）	65	%
						授業時間数	30 時間				
					授業形態	講義 <th>授業回数</th> <td>15 回</td> <td></td> <td></td>	授業回数		15 回		
授業の概要	救急処置と蘇生法の基礎を学び、歯科医療スタッフの一員として現場で応用できるようになることを目的とする。										
到達目標	歯科の臨床現場で、緊急時、正しい救急処置と心肺蘇生法を行うことができるようにする。										
学修者への期待等	教科書などで関連内容を熟読し復習してください。歯科口腔外科臨床で患者さんの安心、安全な全身管理を行うための重要な科目です。身近な人が突然倒れたときに、救急救命の知識があれば命を救うことができます。無知であれば、救急車が到着するまでなすすべがなく救うことができません。後で後悔しない為にも、救急救命法を学んで頂きたい。										
回	授業計画・学修の主題					準備学修		事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員	
1	ガイドランス（評価方法。受講するにあたっての心構え）応急手当の重要性。（目的・必要性・救命処置・心肺蘇生）					事前学修：本時内容の予習 事後学修：本時内容の復習		30	30	菅原一昭	
2	応急手当の重要性。救命の処置（心肺蘇生・AEDについて）					事前学修：本時内容の予習 事後学修：本時内容の復習		30	30	菅原一昭	
3	特殊な傷病とその応急手当（歯の損傷・溺水・熱中症・感電 アキレス腱断裂・R I C E 処置）、気道異物除去（成人）					事前学修：本時内容の予習 事後学修：本時内容の復習		30	30	菅原一昭	
4	気道異物除去（乳児）、搬送法・保温法・応急担架					事前学修：本時内容の予習 事後学修：本時内容の復習		30	30	菅原一昭	
5	心肺蘇生法について、胸骨圧迫（成人）					事前学修：実技効果確認の予習 事後学修：本時内容の復習		30	30	菅原一昭	
6	止血法、心肺蘇生法（成人）の手順					事前学修：実技効果確認の予習 事後学修：本時内容の復習		30	30	菅原一昭	
7	子どもの応急手当（止血法）					事前学修：実技効果確認の予習 事後学修：本時内容の復習		30	30	菅原一昭	
8	心肺蘇生法の実技（成人） 乳幼児の一次救命処置（PBLIS）の手順					事前学修：実技効果確認の予習 事後学修：本時内容の復習		30	30	菅原一昭	
9	心肺蘇生法の実技（成人）実技、AED					事前学修：実技効果確認の予習 事後学修：本時内容の復習		30	30	菅原一昭	
10	実技効果確認、総括					事前学修：実技効果確認の予習 事後学修：本時内容の復習		30	30	菅原一昭	
11	バイタルサインの評価、心肺蘇生法(BLS)の知識・手技の修得					事前学修：本時配布資料内容の予習 事後学修：本時内容の復習		30	30	下田 元	
12	歯科口腔外科診療時の局所的・全身的偶発症、その症状、重症度評価、救急初期対処法、全身管理の修得					事前学修：本時配布資料内容の予習 事後学修：本時内容の復習		30	30	下田 元	
13	全身的基礎疾患を有する歯科口腔外科患者の病態評価、全身管理、発症時の緊急処置、救急対処法の修得					事前学修：本時配布資料内容の予習 事後学修：本時内容の復習		30	30	下田 元	
14	局所麻酔法、精神鎮静法、全身麻酔法、および、周術期患者管理、周術期合併症と緊急処置、救急対処法の修得					事前学修：本時配布資料内容の予習 事後学修：本時内容の復習		30	30	下田 元	
15	インシデント・アクシデント報告、医療事故と法的責任、歯科口腔外科患者の全身管理で歯科衛生士に期待される役割についての理解					事前学修：本時配布資料内容の予習 事後学修：本時内容の復習		30	30	下田 元	
アクティブ・ラーニング	□該当なし ☑該当あり：キーワード（ 実技 ）										

教科書	『歯科衛生学シリーズ 口腔外科学・歯科麻酔学 第2版』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社 菅原担当分はテキストは特に指定せず、随時プリントをこちらで準備する。
参考文献	特に指定しない
備考	下田：講義ごとにその講義内容に関連する資料を配布します。知識の整理、復習、応用に繋げる習慣を身に付けてください。 菅原：◎実技時、服装は白衣。ナースシューズ。髪は後ろで結ぶ。必要に応じ授業内容に関連する資料を配布します。（菅原担当分はA・Bクラス別で授業を実施する）

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)	
【下田】 歯科麻酔専門医、日本蘇生学会指導医として、歯科口腔外科周術期の麻酔科臨床（全身麻酔管理・静脈内鎮静管理など）、救急対応、および全身的基礎疾患患者の全身管理・緊急処置などに携わってきた。その多様な臨床症例の実務経験を基盤に、救急法・救急蘇生法に関する講義を系統的に分かりやすく実践する。	

						科目ナンバリング				
						DH-2-CLT-12				
学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力					
		●	●	●						
科目名	臨地実習指導（臨床総合）				単位 認定者	花 洩 静		評価の方法	レポート	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	必修	3 年	開講時期	通年	単位数	1 単位		受講態度	20 %
						授業時間数	30 時間			
					授業形態	演習	授業回数		15 回	
授業の概要	臨地実習Ⅲ（臨床総合）の事前・事後指導を行う。事前指導では臨地実習Ⅱ（臨床応用）を踏まえ、社会人となる上で必要となる実践力、研究力の育成を目指す。事後指導では実習の反省を踏まえ、自己の課題を見出しながら、必要となる事柄の修得のための学びを深める。									
到達目標	①臨地実習の目的と意義を理解し、歯科衛生士としての役割を説明できる。 ②コミュニケーションの基本（挨拶、説明、観察など）を行うことができる。 ③実習に臨むにあたり、事前課題を見つけ、自ら学ぶ姿勢を持ち行動することができる。									
学修者への期待等	患者さんや歯科スタッフと関わりながら、歯科衛生士としての役割や責任を深く理解し、自分の力になるための事前準備を行ってほしいです。また集団指導においては、各実習施設や対象者を理解し、それぞれに合わせた指導内容の計画をたて、実習メンバーとのコミュニケーションを円滑にし、事前課題および準備や計画を怠らず、真面目に取り組んでもらえることを期待しています。									
回	授業計画・学修の主題				準備学修		事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員	
1	3 年生臨地実習の目的・概要				事前学修：自身が選択した実習施設の特色・概要を調べておくこと。事後学修：内容の復習、関連資料の確認、課題への取り組みを行うこと。		30	30	花 洩 静	
2	ホスピタリティとは ～ホスピタリティマインドの発揮～				事前学修：ホスピタリティについて詳しく調べておくこと。 事後学修：内容の復習、関連資料の確認、課題への取り組みを行うこと。		30	30	今 井 恵 美 子	
3	『症例を診る』とは グループワーク				事前学修：歯科衛生学シリーズ『口腔外科学・歯科麻酔』、『保存修復・歯内療法』『歯科補綴』『歯科矯正』の教科書より自身が2年次の臨地実習で診た症例をまとめること。 事後学修：内容の復習、関連資料の確認、課題への取り組みを行うこと。		60	30	花 洩 静	
4	臨地実習Ⅰ ケースプレゼンテーション①				事前学修：臨地実習時の1症例についてプレゼンテーションの準備をしておくこと。 事後学修：実習日誌の確認、課題への取り組みを行うこと。		90	60	伊藤恵美 佐藤陽子 大宮由布子 花洩静 武山真奈美 西條佳奈 伊藤明日香	
5	臨地実習Ⅰ ケースプレゼンテーション②									
6	臨地実習Ⅰにおける振り返り【実習評価から自分の実習態度を振り返る】				事前学修：実習日誌を事前にみて自己の振り返りをしておくこと。 事後学修：内容の復習、関連資料の確認、課題への取り組みを行うこと。		30	60	花 洩 静	
7	臨地実習Ⅱの実習目標の設定				事前学修：シラバス6回目の実習評価をうけ臨地実習Ⅱに臨むための実習目標を設定しておくこと。 事後学修：内容の復習、関連資料の確認、課題への取り組みを行うこと。		30	60	花 洩 静	
8	臨地実習Ⅱ ケースプレゼンテーション①				事前学修：臨地実習時の1症例についてプレゼンテーションの準備をしておくこと。 事後学修：実習日誌の確認、課題への取り組みを行うこと。		90	60	伊藤恵美 佐藤陽子 大宮由布子 花洩静 武山真奈美 西條佳奈 伊藤明日香	
9	臨地実習Ⅱ ケースプレゼンテーション②									
10	臨地実習Ⅱにおける振り返り【実習評価から自分の実習態度を振り返る】				事前学修：実習日誌を事前にみて自己の振り返りをしておくこと。事後学修：内容の復習、関連資料の確認、課題への取り組みを行うこと。		30	60	花 洩 静	
11	臨地実習Ⅲの実習目標の設定				事前学修：シラバス7回目の実習評価をうけ臨地実習Ⅲに臨むための実習目標を設定しておくこと。事後学修：内容の復習、関連資料の確認、課題への取り組みを行うこと。		30	60	花 洩 静	

回	授業計画・学修の主題	準備学修	事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員
12	臨地実習Ⅲ ケースプレゼンテーション①	事前学修：臨地実習時の1症例についてプレゼンテーションの準備をしておくこと。 事後学修：実習日誌の確認、課題への取り組みを行うこと。	90	60	伊藤恵美 佐藤陽子 大宮由布子 花淵静 武山真奈美 西條佳奈 伊藤明日香
13	臨地実習Ⅲ ケースプレゼンテーション②				
14	上杉山通小学校 集団保健指導実習の目的および概要	事前学修：『歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論』V編1章P396～P411を読んで授業に臨むこと 事後学修：集団指導計画（指導案、教材案など）について実習グルーメンバーと効率的にすすめていくこと。	30	90	西條 佳奈
15	上杉山通小学校（グループワーク） 保健指導計画の立案		30	90	
アクティブ・ラーニング	□該当なし ☑該当あり：キーワード（ グループワーク プレゼンテーション ）				
教科書	歯科衛生学シリーズ 『歯科予防処置論・歯科保健指導論』『歯科診療補助論』『歯科機器』『歯科材料』『口腔外科学・歯科麻酔』『臨床検査』『歯科補綴学』『歯科矯正学』『小児歯科学』『保存修復学・歯内療法学』『高齢者歯科学』『障害者歯科学』全国歯科衛生士教育協議会監修、医歯薬出版株式会社				
参考文献	なし				
備考	授業の進捗状況により授業計画の順番が前後することがある。 シラバス4・5回、8・9回、10・11回、12・13回、14・15回は連続の授業とする。				

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)	
各講師は臨床経験豊富な歯科衛生士とビジネスマナー教育において教育歴が10年以上の講師で構成され、それぞれの専門分野（感染予防、周術期、摂食嚥下、歯科保健指導、歯科診療補助、歯科予防処置、コミュニケーションなど）に特化した内容の授業を行います。学生が臨床現場において安全・確実に実践力を身につけられるような授業を展開します。	

						科目ナンバリング					
						DH-2-RDH-01					
学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力						
	●										
科目名	歯科衛生研究法Ⅰ（臨床基礎）				単位 認定者	伊藤 恵美		評価の方法	試験 （筆記）	80 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	歯科衛生学科	選択	3年	開講時期	前期	単位数	1 単位		受講態度	20 %	
						授業時間数	30 時間				
					授業形態	講義	授業回数		15 回		
授業の概要	歯科衛生の実践場面で遭遇する問題を自ら解決していくため、3年間で学んだ知識と技術を整理する。歯科衛生士として必要な総合的能力を修得することを目的とする。また、本教科では、臨床歯科につながる基礎的な知識と技術の整理も行う。										
到達目標	3年間で学んだ知識の総まとめを行う。										
学修者への期待等	教科書などによる予習・復習を行い、授業内容を十分に理解することを望む。										
回	授業計画・学修の主題				準備学修		事前学修 時間(分)	事後学修 時間(分)	担当教員		
1	遠隔【オンデマンド】 地域福祉保健（地域保健）1（総論のまとめ）				事前学修：教科書の該当項目について事前に目を通すこと 事後学修：授業資料を再読すること		60	30	石河 理紗		
2	遠隔【オンデマンド】 地域福祉保健（地域保健）2（各論のまとめ）				事前学修：教科書の該当項目について事前に目を通すこと 事後学修：授業資料を再読すること		60	30	石河 理紗		
3	歯科放射線学1（総論のまとめ）				事前学修：質問事項などを前もって準備して授業に臨むこと。		60	0	飯久保 正弘		
4	歯科放射線学2（各論のまとめ）						0	0	飯久保 正弘		
5	栄養学1（総論のまとめ）				事後学修：授業内で解説した演習問題の内容について復習すること		0	60	中村 吉孝		
6	病理学（まとめ）				事前学修：質問事項などを前もって準備して授業に臨むこと。		60	0	伊藤 恵美		
7	う蝕予防法1（総論のまとめ）				事前学修：質問事項などを前もって準備して授業に臨むこと。		0	60	鷺尾 純平		
8	栄養学2（各論のまとめ）				事後学修：授業内で解説した演習問題の内容について復習すること		0	60	中村 吉孝		
9	薬理学1（総論のまとめ）				事前学修：質問事項などを前もって準備して授業に臨むこと。		60	0	北村 麻衣		
10	う蝕予防法2（各論のまとめ）						0	0	鷺尾 純平		
11	薬理学2（各論のまとめ）						0	0	北村 麻衣		
12	社会福祉論1（総論のまとめ）				事前学修：関連資料を確認しておくこと。 事後学修：国家試験問題を復習しておくこと。		30	30	野口 美雪		
13	口腔リハビリテーション1（総論のまとめ）				事前学修：質問事項などを前もって準備して授業に臨むこと。 事後学修：関連国家試験の問題を解く		30	30	江畑 綾		
14	社会福祉論2（各論のまとめ）				事前学修：関連資料を確認しておくこと。 事後学修：国家試験問題を復習しておくこと。		30	30	野口 美雪		
15	口腔リハビリテーション2（各論のまとめ）				事前学修：質問事項などを前もって準備して授業に臨むこと。 事後学修：関連国家試験の問題を解く		30	30	江畑 綾		
アクティブ・ラーニング	☑該当なし ☐該当あり：キーワード（ ）										
教科書	『歯科衛生士国家試験ポイントチェック①人体の構造と機能／歯・口腔の構造と機能／疾病の成り立ち及び回復過程の促進 令和4年版出題基準準拠』 歯科衛生士国家試験対策検討会 編 『歯科衛生士国家試験ポイントチェック②歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 令和4年版出題基準準拠』 歯科衛生士国家試験対策検討会 編 『歯科衛生士国家試験ポイントチェック③歯科衛生士概論／臨床歯科医学 上 令和4年版出題基準準拠』 歯科衛生士国家試験対策検討会 編 『歯科衛生士国家試験ポイントチェック④臨床歯科医学 下 令和4年版出題基準準拠』 歯科衛生士国家試験対策検討会 編 『歯科衛生士国家試験ポイントチェック⑤歯科予防処置論／歯科保健指導論／歯科診療補助論 令和4年版出題基準準拠』 歯科衛生士国家試験対策検討会 編										
参考文献	適宜プリントを配布する。										
備考	授業の進捗状況により授業計画の順番が前後することがある。										

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）

各講師は専門分野における臨床経験と教育歴があり、歯科衛生士に必要な基礎知識について総まとめの授業を行います。